つるおかの教育

令和６年度

羽前絹練株式会社精練棟ほか６件が国登録有形文化財へ

鶴岡市教育委員会

目　　次

市 勢 の 概 要 …… 1
　Ⅰ　鶴岡市の状況 …… 2
　Ⅱ　鶴岡市のあゆみ …… 2
教 育 委 員 会
　Ⅰ　教育長及び委員 …… 3
　Ⅱ　組　　織　　図 …… 4
教　育　行　政
　Ⅰ　令和６年度鶴岡市のめざす教育 …… 5
　Ⅱ　令和６年度鶴岡市教育委員会重点施策 …… 6
　Ⅲ　教　育　予　算 …… 19
学 校 教 育 関 連 施 設（小・中学校児童生徒数、施設概要等） …… 21
社 会 教 育 関 連 施 設（施設概要、利用案内・状況） …… 27
ス ポ ー ツ 関 連 施 設（学校体育施設開放状況、施設概要） …… 39
鶴岡市教育委員会沿革 …… 47
鶴岡市教育委員会関係委員 …… 48
学　校　交　流 …… 56
鶴岡市教育施設一覧（所在地、電話番号） …… 57
　１　学校教育施設
　２　社会教育施設
　３　スポーツ施設

表　　紙

羽前絹練株式会社精練棟ほか６件が国登録有形文化財へ

― 令和６年７月19日 国の文化審議会から答申がありました ―

明治39年（1906）に創業した同社は、今なお、絹織物の生産工程の一つ「精練（せいれん）」を担っています。このたび国の文化審議会から「国登録有形文化財」に登録するよう答申がなされたのは、大正後期に建築された「精練棟」をはじめとする七つの建造物です。

これらの建造物は、平成29年に認定された日本遺産「サムライゆかりのシルク　日本近代化の原風景に出会うまち鶴岡へ」の構成文化財となっており、本市に息づくシルクの伝統と文化を伝えています。

※「精練」… 製糸・製織された絹織物から不純物を煮溶かし、なめらかに仕上げ、光沢を生む工程。

［表紙写真］

（上）　「精練棟」の屋内上部には、三角形を組み合わせたトラス構造が残る。

（左下）　「事務所棟及び仕立棟」の外観。

（右下）　「第一仕上棟」の外観。採光・換気用の越屋根（こしやね）が景観をつくる。

答申された７棟の詳細や配置図はこちら

市　勢　の　概　要

鶴岡市長
皆　川　　治

市　　章

この市章は、は翼を広げた鶴、は出羽三山と山形県、全体をもって鶴岡の「岡」を形づくり、紺碧の空に白い鶴が舞い羽ばたく様から、新市のさらなる飛躍の願いが込められています。
また、基調となる群青色は、南庄内の海の色も象徴しています。

（平成17年10月１日制定）

鶴岡市民憲章

出羽の山なみと日本海に抱かれ、歴史と文化を築いてきた、いのち輝くまち鶴岡。
わたくしたちは、このふるさとを愛し、力を合わせて、希望に満ちた未来をひらきます。

自然を尊び、環境をととのえ、美しいまちにしましょう。
心も体も健やかに、命はぐくむまちにしましょう。
認め合い、助け合って、笑顔あふれるまちにしましょう。
働くことを喜び、生き生きとした豊かなまちにしましょう。
進んで学び、共に語り、創意わき出るまちにしましょう。

市の花：さくら

市の木：ブナ

市の魚：クロダイ

Ⅰ　鶴岡市の状況

位　置　　北緯　　38度43分37秒
　　東経　139度49分35秒
　　東西　　43.1 km
　　南北　　56.4 km
　　面積　1,311.51 km²
　　海抜　　15 m
人　口　117,782 人
世帯数　　49,545 世帯
（令和６年４月30日現在）

鶴岡市は、山形県の西北部にある庄内平野の南部に、新潟県に接して位置しています。

鶴岡市の北部には庄内平野が広がり、赤川水系の赤川、大山川、最上川水系の京田川、藤島川等の河川が貫流しています。

この庄内平野の東部から南部にかけては、出羽丘陵、朝日連峰、摩耶山系の山岳丘陵地帯となり、一方、西部は日本海に面し、約42kmにわたって磯浜が形成されています。

Ⅱ　鶴岡市のあゆみ

庄内南部における先人の痕跡は遠く旧石器時代にさかのぼりますが、縄文時代に入ると、鶴岡地域の岡山遺跡や朝日地域の野新田遺跡、羽黒地域の玉川遺跡など、集落跡が多く見つかっています。

奈良時代には、出羽・田川・飽海の３郡をもって出羽国がおかれ、市域は田川郡に属していました。

平安時代の末期には大泉荘という荘園の中心となり大宝寺と称していましたが、大宝寺城を鶴ヶ岡城と改名したのに伴い、地名も鶴ヶ岡と改められ、これが近代に入り次第に鶴岡と呼ぶようになりました。

江戸時代には、庄内藩14万石の城下町として庄内の政治・経済・文化の中心となって発展し、明治維新に至りました。

明治４年の廃藩置県により大泉県となり、この年のうちに庄内全域が酒田県と改められ、明治８年に鶴岡県と改称、明治９年に山形県・置賜県と合併して現在の山形県に属することになりました。

明治11年に田川郡を東田川郡と西田川郡に分け、藤島に東田川郡役所、鶴岡に西田川郡役所を置きました。

明治22年、鶴岡は町村制施行により鶴岡町となり、大正７年に稲生村を合併、大正９年に大宝寺村を合併、大正13年の市制施行により鶴岡市となりました。

大正11年、藤島村は町制施行により藤島町となりました。

昭和13年、温海村は町制施行により温海町となりました。

昭和29年、藤島町（藤島町・東栄村・八栄島村・長沼村）、櫛引村（黒川村・山添村）、朝日村（大泉村・本郷村・東村）、温海町（温海町・山戸村・福栄村・念珠関村）が町村合併により誕生しました。

昭和30年、羽黒町（手向村・泉村・広瀬村）が合併により誕生し、鶴岡市に１町９カ村（加茂町、斎・黄金・湯田川・大泉・京田・栄・田川・上郷・豊浦の各村）が合併、藤島町に渡前村が合併、大山町と西郷村が合併して大山町となりました。

昭和38年、鶴岡市に大山町が合併しました。

昭和41年、櫛引村は町制施行により櫛引町となりました。

平成17年、鶴岡市・藤島町・羽黒町・櫛引町・朝日村・温海町の合併による「鶴岡市」が誕生しました。

教育委員会

Ⅰ　教育長及び委員

布川　敦（ぬのかわ　あつし）
教育長

① 平成31年４月１日
② 令和４年４月１日から
令和７年３月31日まで

百瀬克浩（ももせ　かつひろ）
委員

① 令和３年11月12日
② 令和３年11月12日から
令和７年11月11日まで

清野康子（せいの　やすこ）
委員

① 令和元年11月12日
② 令和５年11月12日から
令和９年11月11日まで

中村公俊（なかむら　きみとし）
委員

① 令和４年11月12日
② 令和４年11月12日から
令和８年11月11日まで

齋藤美緒（さいとう　みお）
委員

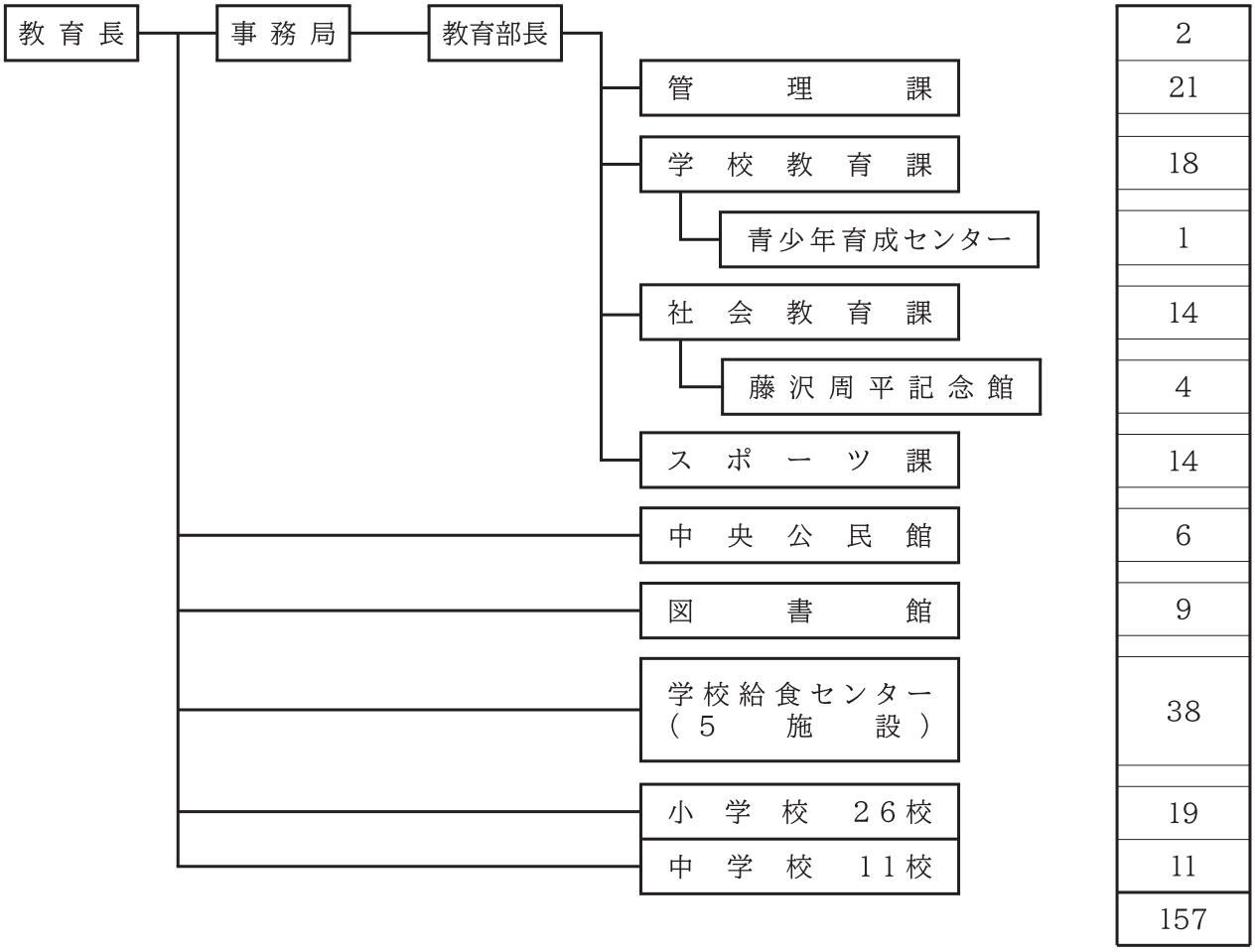
① 平成29年11月12日
② 令和２年11月12日から
令和６年11月11日まで

氏　名
職　名
①　就任年月日
②　現　任　期
（令和６年４月１日現在）

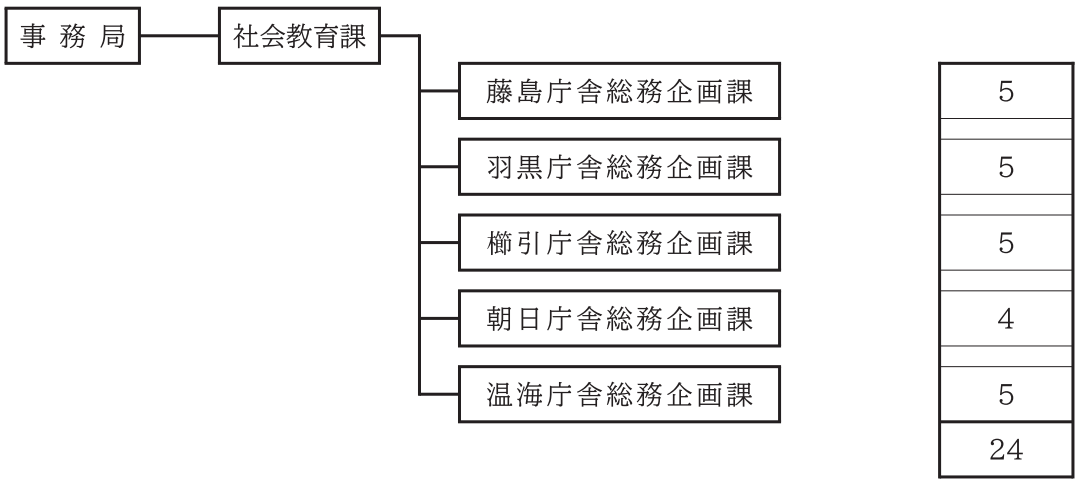
Ⅱ　組　織　図

鶴岡市教育委員会　正職員　配置状況

令和６年４月１日



各庁舎総務企画課　社会教育課併任職員　配置状況



教　育　行　政

Ⅰ　令和６年度 鶴岡市のめざす教育

鶴岡市は、庄内平野、赤川、出羽三山、朝日連峰、日本海など、美しく実り豊かな自然に恵まれ、城下町として、あるいは、全国でも有数の稲作地帯として、長い歴史の中で人を育て、文化を生み出し、産業を興し、豊かな地域を築きつつ、今日まで発展してきました。

このような歴史・文化・風土を精神的な支えとして、鶴岡市教育委員会は、第６次山形県教育振興計画（後期計画）を踏まえつつ、第２次鶴岡市総合計画のめざす都市像『ほんとうの豊かさを追求する　みんなが暮らしやすい　創造と伝統のまち　鶴岡』の実現をめざします。

そのために、学校・家庭・地域社会が多様性を認め合い、お互いに心を通わせながら学びの教育環境を整え、それぞれの機能を発揮し、個々人の人格の完成をめざし、「教育目標」を設定して、その実現に努めます。

≪教育目標≫

ふるさと鶴岡を愛し未来をひらく、
いのち輝く人づくり

いのち輝く市民が躍動する環境づくり

≪教育方針≫

１　逞しさ・優しさ・賢さを育む学校教育の推進

２　市民の多様な学習環境づくりの推進

３　豊かな感性を育む文化芸術の振興

４　生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の推進

５　教育関係施設の適切な維持管理と最適な配置の推進

Ⅱ　令和６年度 鶴岡市教育委員会重点施策

１　逞しさ・優しさ・賢さを育む学校教育の推進

本市は、藩校「致道館」の教育の理念である「自学自習」「天性重視」「心身鍛練」を大切にした教育風土を受け継いできました。

その精神を大切にしながら、知・徳・体の調和がとれ、生涯にわたって学び続ける人間の育成をめざし、学校・家庭・地域社会がお互いの役割を明確にして、地域とともにある学校づくりに努めます。

そのために、子ども一人一人が安心して生活できる学校環境づくりを進めるとともに、変化の激しい社会を生き抜く、意欲あふれる子どもを育てる学校教育の推進を図ります。

また、人間性豊かな子どもの育成のために、学校教育の振興に必要な施設設備の整備に努め、円滑な学校経営を推進します。

学校給食については、栄養のバランスがとれた安全でおいしい給食の提供により、心身ともに健やかな子どもの成長を育むとともに、望ましい食習慣を養い、地産地消の推進や食文化創造都市にふさわしい食育の充実と食文化の継承に取り組みます。

次代を担う子どもの育成に向け、学校・保護者・地域が一体となって取り組めるよう、積極的に情報発信を行っていきます。

⑴　教職員の資質向上と心かよい笑顔あふれる元気な学校づくりの推進

①　学習指導要領を踏まえた実践、今日的教育課題に対する取組み

ア　教育研修所（教育指導）事業の推進（授業づくりアドバイザー派遣事業、授業づくりサポート講師派遣、教育講演会、イブニング講座、各ブロック研修事業、授業研交流等）

イ　教職員研修の実施（初任者研修・中堅教諭等研修、教育ＩＣＴ活用研修等）

ウ　学校経営訪問、計画訪問、要請訪問等による指導

エ　新聞活用教育研究モデル事業

②　各学校の創意工夫を生かした特色ある学校経営の推進

ア　特色ある学校づくり推進事業（外部人材の積極的な活用、体験活動の充実）

③　適切な感染症等対策の徹底

ア　学校保健管理事業の推進（保健衛生用品の配布）

イ　校長会議や通知による対策等の周知・徹底

④　多様性に関する学習の充実や環境づくり

ア　基本的人権に基づいた男女平等、多様性について考える学習の実施

イ　関係機関との連携による人権学習の充実

ウ　校則（約束）等の柔軟な運用

⑤　学校における「働き方改革」の推進

ア　休日における部活動の地域移行の推進

イ　タイムレコーダー等による適正な勤務時間管理の実施

ウ　統合型校務支援システム導入による時間外勤務時間の削減

エ　教職員ストレスチェック事業及び長時間労働教職員面接指導の実施

オ　学校を支える外部人材の配置（学校教育支援員、部活動指導員、ＳＳＳ等）

⑥　優れた実践を行った教職員の表彰

ア　学校教職員褒章の実施

⑵　子ども一人一人が意欲的に取り組む学習指導の充実（探究的な学び、主体的・対話的な学びの充実）

①　「わかる・できる」楽しい授業づくりの推進

ア　教育指導事業（授業づくりアドバイザーの派遣）

イ　校内授業研究会の充実

ウ　科学技術教育振興事業

②　基礎・基本の確実な定着と指導方法や評価を工夫した学習指導の推進

ア　ブロック研修会の実施

イ　小・中教科書整備事業（教師用教科書・指導書・デジタル教科書・指導資料等の措置）

ウ　タブレット等のＩＣＴを効果的に活用した授業改善の推進

③　子どもの心を豊かにし、多様な学習を可能にする図書館利用の推進

ア　図書館活用に向けた校内体制と図書館環境の整備

④　国際理解教育の推進と外国語教育の充実

ア　外国語教育振興（ＡＬＴ・外国語サポーターの派遣、小・中学校の連携による外国語活動・英語教育の推進等）

イ　ニューブランズウィック市交流事業（中学生の派遣）

⑶　社会力と思いやりの心を育てる教育活動及び生徒指導の充実

①　他への思いやりの心を行動化する教育の推進

ア　教育活動全体を通した道徳教育の推進

イ　鶴岡市子ども像の意識化と実践力の推進（掲額等の取組み）

②　「いじめ」・「不登校」の発生予防と的確な対応

ア　教育相談・適応指導事業（教育相談センター適応指導教室の充実）

イ　青少年育成センター運営事業（青少年育成市民会議等との連携）

ウ　市及び各校のいじめ防止基本方針やいじめの重大事態対応マニュアルを踏まえた取組みの充実（未然防止・具体的対応・重大事態時の組織対応等）

エ　定期的な教育相談やアンケート等によるいじめ・不登校等の早期発見

オ　法的な視点をもとにしたいじめ問題への対応（いじめ問題弁護士相談の活用）

カ　家庭と連携したネットモラルの指導の充実

③　生徒指導の充実

ア　授業をはじめとする学校生活の様々な場面での生徒指導の三機能（自己存在感・共感的な人間関係・自己決定の場）と安全・安心な風土の醸成に留意した指導の充実

イ　Ｑ－Ｕ「楽しい学校生活を送るためのアンケート」を活用した温かな学級集団づくり

⑷　「ふるさと鶴岡」を愛する心を育む教育の充実

①　「ふるさと鶴岡を愛する子ども」育成事業

ア　「親子で楽しむ庄内論語」の活用推進

イ　「ふるさと鶴岡の学習」（致道博物館入館料補助）、「海の学習」（加茂水族館入館料補助）の推進

ウ　小学校スキー学習等支援事業

エ　「学区内地域学習」推進事業

オ　次代を担う人づくりの推進（高等教育機関等との連携）

カ　大鳥自然の家での体験活動支援（スクールバス）

②　特色ある学校づくり推進事業

ア　地域人材活用、地域を知り先人に学ぶ地域学習等の充実

イ　体験的活動実施等への支援

③　海洋教育推進事業
ア　海洋教育パイオニアスクールプログラムの実施
イ　渚の交番等を活用した体験活動や教職員研修の実施
④　将来の夢や目標の実現のために行動する児童生徒を育てるキャリア教育の推進
ア　地域の教育資源を活かし、鶴岡市キャリア教育推進指針と各校全体計画に基づく実践
イ　出前授業の実施

⑸　自他のいのちを大切にし、健康で逞しい子どもを育てる体育・保健・安全指導の充実
①　心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフの実現につなぐ体育の充実
ア　運動の楽しさや達成感を実感できる授業づくり
イ　体力・運動能力を向上させる１学校１取組みの充実
ウ　小体連・中体連事業への支援
②　児童生徒の危険予測・回避能力の育成と危機管理体制の充実
ア　学校安全、交通安全に関する指導の充実（地域学校安全指導員の配置）
イ　安全点検、避難訓練・避難所開設等の充実（地域との連携推進）と危機管理マニュアル等の改善工夫（防災教育アドバイザーの派遣）
ウ　緊急時対応に向けた体制整備（自然災害・感染症・熱中症・不審者・食物アレルギー・熊等）
③　「いのちの教育」の推進
ア　教育指導事業（自尊感情の育成による自他のいのちを大切にする指導の充実）
④　家庭・地域と連携した望ましい生活習慣の確立および組織的な安全体制づくりの推進
ア　ＰＴＡとの連携・協力による生活習慣づくりとメディア・インターネット・ＳＮＳに係る取組みの推進
イ　児童・生徒総合安全対策推進事業（見守り隊への支援）
ウ　地域ぐるみの学校安全体制整備事業（地域安全学校指導員の配置）

⑹　一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育と組織体制の充実
①　専門家チームによる巡回相談の実施
ア　特別支援教育充実事業、教育相談・適応指導事業
②　特別支援教育に関する専門的指導者の養成と人材活用
ア　特別支援教育講座の実施
イ　特別支援教育コーディネーター等連絡会の開催
③　特別支援教育に関わる校内委員会の機能強化と個別の支援体制の充実
ア　学校教育支援員の継続配置
イ　個別の教育支援計画及び指導計画に基づいた校内体制による適切な支援
④　家庭との連携による将来を見据えた継続的な就学支援の充実
ア　個に対応した適正な就学支援の推進
イ　関係機関との連携による就学相談の実施
ウ　保護者対象の就学相談会の実施（６月、８月）

⑺　教育課題解決に係る施策の実施・調査・研究
①　中学校ブロックにおける鶴岡型小中一貫教育の計画作成支援
②　国際バカロレア教育プログラムの調査・研究
③　「学びの多様化学校（不登校特例校）」の調査・研究

⑻　家庭教育との連携推進による基本的生活習慣の確立を図る幼児教育の充実

①　幼・保・小連携による研修の充実

ア　幼児教育振興事業（幼児教育連絡協議会、幼保小連携推進研修会等）

②　家庭の教育力向上に向けた研修の充実

⑼　心豊かで思いやりのある青少年の育成と地域の教育力の活性化推進

①　青少年を取り巻く環境の浄化及び健全な心身の育成

ア　青少年育成センター運営事業（街頭指導・相談業務等）

②　地域社会における青少年育成活動の推進

ア　青少年健全育成事業（青少年育成市民会議、青少年育成推進員連絡協議会）

⑽　地域とともにある「チーム学校」の推進

①　学校・保護者・地域の連携による学校づくりの推進

ア　学校運営協議会設置（コミュニティ・スクール）の推進（新規４校、計24校）

②　学校を支える外部人材の活用

ア　学校教育支援員の配置拡充（医療的ケア児童生徒への支援にも対応）

イ　外国語サポーター、外国人子女教育支援員の継続配置

ウ　スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの継続配置

エ　部活動指導員の配置拡充

⑾　健やかな成長を育む学校給食づくり

①　望ましい食習慣や食に関する知識を身につける食育の充実

ア　学校訪問による栄養指導の実施

②　学校・家庭との連携による給食内容の充実

ア　給食だより、ミニガイド情報、ホームページ等を活用した情報の発信

イ　献立作成委員会の開催

ウ　小・中学校希望献立の実施

③　食育と地産地消の推進

ア　地域の食文化を取り入れた郷土食や行事食の提供

イ　「鶴岡市食文化創造都市推進プラン」に沿った食育の充実と地場産品の積極的な使用

ウ　ユネスコ食文化創造都市にふさわしい、鶴岡市の食育・食文化の具現化

エ　生産者や浜の伝道師等による講話、実演、交流給食の推進

④　衛生管理と事故防止の徹底

ア　安全衛生基準の厳守と食物アレルギーへの対応、異物混入の防止

イ　安全衛生研修会の開催と業者訪問（衛生指導）等の実施

ウ　食材の安全性の確認

⑤　給食業務の効率化の推進

ア　調理業務・搬送業務等の民間委託の継続

イ　各地域学校給食センターの経年化と小中学校の状況を踏まえた将来的な統合の検討

⑥　新鶴岡市学校給食センターの整備

ア　老朽化した鶴岡市学校給食センターの整備と効率的な事業手法の検討

⑦　施設・設備等の更新及び修繕

ア　将来的な各地域学校給食センターの統合を見据えた施設・設備等の計画的な更新及び修繕

イ　食缶・食器等の計画的な更新

⑧　子育て世代の教育費の負担軽減
ア　学校給食費の完全無償化の継続
⑨　給食費の過年度未納額の適切な管理
ア　給食費過年度未納額の催告と納付指導

⑿　教育環境の整備充実
①　教育環境に配慮した学校改築・改修の促進
ア　施設の計画的な改築事業（朝暘第五小学校、藤島中学校）
②　学校施設の適切な維持管理
ア　小・中学校の既存施設の長寿命化に向けた営繕改良の実施
イ　学校施設の維持管理経費の節減に向けた省エネルギーの推進
③　教育活動に係る教材・教具等の整備充実
ア　各教科の教材・教具物品、学校図書の整備充実
④　通学対策の充実
ア　スクールバスの運行の確保及び通学費の助成
イ　スクールバスの計画的な整備・更新
ウ　通学時の安全確保に向けた関係機関・団体等との連携の強化
⑤　学校施設の利活用に係る管財業務
ア　学童保育・放課後子ども教室への対応
イ　学校開放事業の適切な実施
ウ　学校統合による閉校校舎等の利活用への対応
⑥　修学資金の返還支援
ア　山形県若者定着奨学金返還支援事業の推進

⒀　学校適正規模・配置の検討
ア　鶴岡型小中一貫教育の教育的効果等を踏まえた適正な規模・配置の検討
イ　藤島地域小中学校の将来構想の推進

２　市民の多様な学習環境づくりの推進

市民一人一人の生涯にわたる学びの環境を整え、日常生活や地域づくりの課題に取り組む機会を提供します。さらに、地域の歴史や文化等の学習を通し、自らの地域に対する誇りを醸成します。

また、市民と地域社会のニーズに応じた様々な学習情報を提供し、世代を超えて市民が楽しく学習、交流するとともに、地域づくりを支える学習活動の拠点づくりを推進します。

地域全体で子どもを見守り、子育て家庭を支援していく意識づくりを進めるとともに、本市の豊かな自然環境のなかでの多様な学びや体験の場を設け、感性豊かな心身ともに元気で逞しい子どもの育成を図ります。

そのために、公民館や図書館等の社会教育施設及びコミュニティセンター等において、職員の体制整備や資質向上を図りながら、地域資源の活用をはじめ、地域特性を踏まえた多様で体系的な学習事業の充実と学びの成果を発揮する機会の提供に努めます。

⑴　社会教育施策の充実と社会教育関係団体への支援
①　社会教育委員会議の開催
②　社会教育関係団体の活動支援（ＰＴＡ連合会、女性団体　他）
③　社会教育関係職員の研修の充実

⑵　市民の学習を促進する社会教育事業の展開

①　生涯学習振興事業

ア　生涯学習講座の開催

イ　学習情報の提供

②　青少年教育事業

ア　地域の資源を活かした学習事業、体験事業の充実

イ　大鳥自然の家における自然環境教育の推進

③　住民が主体となった学習活動の支援

ア　コミュニティ推進団体等への学習支援

イ　コミュニティ推進団体職員、生涯学習推進員等の研修の支援

⑶　家庭教育推進事業

①　学校、社会教育施設等における家庭教育支援講座の開催

②　地域子育て推進講演会の開催

③　ブックスタート事業の実施

⑷　学校・家庭・地域の連携協働事業の推進

①　地域学校協働活動（学校支援）の実施

②　放課後子ども教室の実施

③　地域未来塾の実施

⑸　市民の読書活動を推進する図書館づくりと地域に根ざした郷土資料館づくり

①　図書館サービスの充実と市民の読書活動の推進

ア　本館・分館の連携による図書館サービスの充実

イ　移動図書館「やまびこ号」の運行

ウ　レファレンスサービスの充実

エ　ホームページの充実による図書館情報の発信

オ　ボランティア団体の育成と協働事業の実施

カ　市民の学習ニーズ等に応える図書資料の収集・充実

キ　市民の読書活動推進事業の実施

ク　対面朗読ボランティア派遣事業

ケ　施設、サークル等への団体貸出の実施

コ　郷土出身作家コーナーの充実

②　子どもの読書活動の推進

ア　第２次子ども読書活動推進計画の推進

イ　子ども読書活動推進事業の実施

ウ　学校との連携による子どもの読書活動の推進

エ　７か月健康相談時でのブックスタート事業への協力

オ　保育園、幼稚園、その他子どもの読書活動推進団体との連携・協力

カ　子どもの読書活動に対する理解啓発と情報発信

③　郷土史の調査・研究のための史料の収集と整理・活用

ア　古文書等郷土資料の調査、収集と整理、活用及び公開

イ　郷土出版物、庁内出版物及び郷土出身者の著書の重点収集と整理

ウ　郷土資料散逸防止の啓発

④　郷土史研究の情報拠点としての事業の推進
ア　郷土に関する各種相談への対応と史料提供
イ　企画展示等による市民への資料公開
ウ　各種広報媒体等を活用した郷土資料館の周知
エ　歴史講演会等を通じた新たな研究成果の提供
⑤　所蔵史料の利用促進
ア　所蔵史料のデータベース化
イ　所蔵資料の資料目録発行に向けた整理・調査の継続
ウ　所蔵資料のデジタル化
エ　諸家文書目録の利用促進
⑥　郷土理解の推進と地域文化の振興
ア　古文書読解及び郷土史関連の講座の開催
イ　庄内歴史懇談会、温故の会等、郷土史関係団体への協力連携
⑦　図書館本館のあり方検討と良好な施設環境の整備
ア　図書館本館の新館構想と計画の策定推進
イ　読書環境充実のための施設整備
ウ　郷土資料の適切な保存のための収蔵庫確保

⑹　生涯学習の魅力ある拠点づくり
①　中央公民館事業の充実
ア　地域課題等に即した多様な学習機会や繋がりの機会の提供（市民講座等）
イ　生涯学習団体等の活動支援（文化祭、サークル支援、サークル共催講座等）
ウ　市民の多様な芸術文化活動への支援（早春文化展、市民ギャラリー等）
エ　子どもの多様な学習体験の促進（少年少女古典素読教室、こども文化クラブ等）
オ　青年を対象とした学習及び交流の推進（勤労青年国内研修等）
カ　女性の社会活動の支援及び男女共同参画に関する学習機会の提供（女性センター各種講座、かがやき女性塾等）
キ　視聴覚教材を活用した学びの支援（視聴覚教材等貸出しの広域連携等）
ク　天文学習及びプラネタリウム活用の推進（天文移動教室、プラネタリウム一般公開等）
ケ　デジタル技術活用による市民サービスの向上（LINE活用、貸館情報提供等）
コ　誰もが安全安心かつ快適に利用できる施設環境の整備（照明設備等の更新・修繕）
②　生涯学習センターにおける生涯学習の推進
ア　地域住民のニーズに応じた各種講座、交流事業等の実施
イ　地域課題に応じた各種講座の実施及び学習活動等の推進
ウ　芸術文化活動等の推進（地域文化祭、舞台・展示発表等）
エ　教育・学習活動に係る情報提供及び支援
③　コミュニティセンター、地域活動センターにおける生涯学習の推進
ア　地域住民のニーズに応じた各種講座、交流事業等の実施に係る支援
イ　地域課題に対する学習活動等の実施に係る支援
ウ　各施設における教育・学習活動の奨励、情報提供及び指導

3　豊かな感性を育む文化芸術の振興

優れた芸術文化の創造と鑑賞機会の充実、歴史に育まれた伝統文化の継承と文化財の保存・活用を図りながら、地域文化の振興に努めます。

⑴　創造性を育む芸術文化活動の振興

①　芸術文化振興事業

ア　鶴岡市芸術祭の開催、各地域文化祭、芸術祭の開催

イ　博物館展示事業への支援

ウ　山形交響楽団演奏会の開催

エ　小・中学生楽器講習会の開催

オ　芸術文化協会の運営への支援

カ　鶴岡市文化芸術推進基本計画の推進

キ　休日における中学校文化部活動の地域移行の支援

②　高山樗牛顕彰事業

ア　高山樗牛賞の授賞（高山樗牛賞・高山樗牛奨励賞）

⑵　歴史に育まれた伝統文化と文化財の保存・継承・活用

①　文化財管理保存事業

ア　指定文化財の保存管理に係る指導・支援

イ　市所有指定文化財の保存修理の実施

ウ　指定文化財保存修理事業への支援

エ　未指定文化財の調査の推進

オ　文化財愛護思想の普及啓発の推進

②　致道館管理運営事業

ア　史跡の保存管理と藩校資料の一般公開

③　大宝館管理運営事業

ア　文化財建造物の保存管理と郷土出身人物の紹介・顕彰事業の推進

④　旧東田川郡役所及び郡会議事堂管理運営事業

ア　史跡の保存管理と一般公開、文化事業の推進、利活用の検討

⑤　松ヶ岡開墾場管理運営事業

ア　史跡の保存管理と蚕室を活用した歴史展示・体験受入

⑥　丸岡城跡史跡公園管理事業

ア　史跡公園の保全管理

イ　ガイダンス施設（市指定文化財日向家住宅）の一般公開

⑦　旧遠藤家管理運営事業

ア　文化財建造物の保存管理と一般公開

⑧　埋蔵文化財調査事業

ア　埋蔵文化財の分布調査、開発事業との調整

イ　出土品の分類・整理・保存作業の実施

ウ　埋蔵文化財保護思想の普及啓発の推進

⑨　民俗芸能等の保存伝承

ア　民俗芸能・伝統行事の保存伝承支援

イ　民俗芸能記録保存事業の実施

⑶　文化活動の中核施設の整備・充実

①　文化会館管理運営事業

ア　「支える 育てる 高める」未来につなぐ芸術文化の拠点の実現に向けた取組みの推進

イ　舞台芸術等を中心とした市民の多様な芸術文化活動の支援

ウ　未来の芸術文化の担い手の育成

エ　多様な芸術文化を体験する機会の提供

オ　優れた芸術文化の鑑賞機会の提供

カ　芸術文化を通じて交流できる場、にぎわいへとつながる事業の創出

キ　利用者の安全確保や施設の機能維持を図るための施設環境の整備

②　鶴岡アートフォーラムの管理運営事業

ア　展示系拠点施設としての機能充実の推進（館内Ｗｉ-Ｆｉ環境整備）

イ　展示事業（市民ギャラリー事業、自主企画展示、郷土芸術に関する展示等）の推進

ウ　学習・普及事業（児童生徒の芸術学習、各種制作講座、普及啓発事業等）の推進

エ　利用者の安全確保や施設の機能維持を図るための計画的な施設・設備の修繕（非常用照明設備修繕等）

⑷　文化資源の保存・研究基盤の整備

①　文化資料調査事業

ア　文化資料の調査並びに保存活用方法の検討

イ　公益性の高い歴史資料、文化資源に関する調査研究活動の促進

②　藤沢周平記念館管理運営事業

ア　藤沢周平氏の作品世界と生涯を紹介するための展示活動とソフト事業の実施

イ　藤沢文学を入口とした地域の文化・風土への道案内や情報発信の実施

ウ　利用者の安全確保や施設の機能維持を図るための計画的な施設・設備の修繕（空調熱源機オーバーホール等）

４　生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の推進

市民一人一人の目的や志向に応じて、スポーツやレクリエーション活動を通したコミュニティとしての場を提供し、健康につながる生涯スポーツを推進します。

地域の活力となる競技スポーツの振興を図るとともに、スポーツを通した交流を促進します。

誰もが安全・安心にスポーツ施設を利用できるよう整備を進めるとともに、充実した管理運営を推進します。

スポーツ活動を通した豊かな生活と地域活性化につながる環境づくりを進めます。

また、令和６年度から新たに進める第２期スポーツ推進計画の着実な推進に取り組みます。

⑴　市民の健康につながる生涯スポーツの充実

①　個人のライフスタイルに合わせたスポーツ活動への動機づけによるスポーツ実施率の向上

ア　スポーツに親しむきっかけづくりの推進

イ　運動習慣の定着化に向けた市民参加型イベントの実施

ウ　安全・安心にスポーツに取り組むための熱中症対策・感染症対策等の普及・啓発

エ　「つるおかスポーツチャレンジ」の実施

② 市民の誰もが気軽にスポーツに親しめるコミュニティとしての「場づくり」等機会の提供
ア すべての市民が安心してスポーツ・レクリエーションに親しめる環境整備
イ ボッチャの普及等を通した障害者スポーツの振興と共生社会の実現
③ 楽しさ、喜び、自発性に基づき本質的な「スポーツそのものが有する価値」（ウェルビーイング）が高まるプログラムの提供
ア 関係機関と連携したパラスポーツや軽スポーツの普及促進
イ 鶴ウォーカーポイントカードによるインセンティブの提供
ウ スマホアプリを活用したインセンティブの提供

⑵ 地域の活力となる競技スポーツの振興
① 地元選手の競技力向上、強化組織育成、指導者の資質向上、トップアスリート育成の取組み
ア 鶴岡市スポーツ協会及び鶴岡市スポーツ強化後援会等の活動支援
イ 国際大会や全国大会で活躍できる選手の育成強化と指導者の養成及び資質の向上
ウ 競技団体等における審判員の資質向上に向けた取組みへの支援
エ スポーツ表彰制度によるスポーツ活動の推進
オ 競技水準の高い各種競技大会の開催支援と協力体制の確立
カ スポーツ活動における暴言・暴力行為の根絶やハラスメントの防止に向けた啓発及び研修会等の開催支援
キ 山形県縦断駅伝競走大会鶴岡田川チームへの支援
ク 「山形県スポーツタレント発掘事業」への協力
② 本市出身トップアスリートの市内定着・回帰への環境づくり
ア トップアスリート及びその育成にあたった指導者の活躍の促進
イ 地元企業等と連携したトップアスリートのキャリアを生かした活動の支援
③ トップチーム等の大会・合宿誘致による地元アスリートの競技意識の高揚、東京２０２０オリンピック・パラリンピックのレガシー（遺産）による交流の継続
ア 「国際バドミントンＵ１６」の開催支援
イ 女子バレーボールチーム「アランマーレ」との連携
ウ プロサッカーチーム「モンテディオ山形」との連携
エ 企業・大学等の合宿誘致の推進と活動支援
オ 東京２０２０オリンピック・パラリンピックのホストタウン相手国をはじめとするスポーツを通した国際的な交流の推進

⑶ 充実したスポーツ施設の管理運営
① 旧鶴岡病院跡地を活用して人工芝グラウンドを整備し、共生社会のもとで多目的に利用できる環境づくりの取組み
ア 市民ニーズに沿った施設の整備充実
イ 人工芝グラウンド整備の機能充実
ウ 共生社会のもとでの施設の整備充実
エ 多目的利用可能な機能充実
② 共生社会に向けた施設機能や利用者の安全確保を目指した既存スポーツ施設の修繕・改修
ア 指定管理者制度による適正かつ効率的な管理運営の推進
イ 共生社会に向けた施設の改修
ウ 利用者の安全確保に向けた施設の修繕・改修の推進
エ 全国大会・東北大会等が開催可能となるスポーツ施設の修繕・改修の推進

③　地域住民が利用しやすい学校体育施設を含めたスポーツ施設の有効な活用と老朽化した施設の再配置の検討

ア　学校体育施設開放等による有効活用の推進

イ　プールや陸上競技場等老朽化した施設の再配置を含めた整備と機能充実に向けた検討

ウ　市民ニーズに沿った施設整備の取組み

エ　利用者ニーズに沿ったトレーニングルームの機器整備の充実

オ　市の施策として支援が必要な利用者に対する施設使用料減免の推進

⑷　地域に関わるスポーツ環境の充実

①　市民が主体的にスポーツ活動をできる環境の整備

ア　総合型地域スポーツクラブの活動・自立支援

イ　学区・地区・地域体育協会等の活動支援及び主催スポーツ行事の開催支援

ウ　スポーツ推進委員の資質の向上

エ　スポーツボランティア活動の普及

オ　「鶴岡市民総合体育大会」の開催支援

カ　「鶴岡市駅伝競走大会」の開催

キ　スポーツ団体の組織運営への指導

②　子どもがスポーツ活動を楽しめる環境の整備

ア　幼児期からの発達過程を踏まえた身体活動の促進

イ　スポーツ少年団活動の支援

ウ　子どもたちの体力向上に向けた普及啓発

エ　「子ども夢スポーツフェスティバルin鶴岡」の開催

③　休日における中学校運動部活動地域移行の推進

ア　受皿となる総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団等への支援

イ　熱中症対策・感染症対策等も含めた安全なスポーツ活動実施のための指導

④　地域の自然や文化に触れるスポーツツーリズムによる地域活性化や市民が主体的に参画するスポーツの環境づくり

ア　「てくてく健康里山あるき」等ウォーキング事業の充実

イ　「市民登山」の開催支援

ウ　スキー・ヨット教室等の地域性を活かしたスポーツ活動の支援

エ　（一社）日本ウオーキング協会公認「みんなで歩こう！里山あるき」の開催

オ　「国際ノルディック・ウォークin鶴岡」の開催

カ　「ジャパンソフトバレーボール鶴岡フェスティバル」の開催

キ　全国大会・東北大会等の開催誘致

ク　「する」「みる」「ささえる」スポーツの情報発信の充実

５　教育関係施設の適切な維持管理と最適な配置の推進

各種教育施策の現状と将来像を見据えながら、教育関係施設が有効かつ安全に機能するように適切な維持管理を行い、最適な配置を推進します。

【丸数字以下の項目は、１～４の再掲】※印を付した項目は再掲外

⑴　給食施設の適切な維持管理と最適な配置の推進

①　各地域学校給食センターの経年化と小中学校の状況を踏まえた将来的な統合の検討

②　新鶴岡市学校給食センターの整備

ア　老朽化した鶴岡市学校給食センターの整備と効率的な事業手法の検討

③　施設・設備等の更新及び修繕

ア　将来的な各地域学校給食センターの統合を見据えた施設・設備の計画的な更新及び修繕

⑵　学校施設の適切な維持管理と最適な配置の推進

①　教育環境に配慮した学校改築・改修の促進

ア　施設の計画的な改築事業（朝暘第五小学校、藤島中学校）

②　学校施設の適切な維持管理

ア　小・中学校の既存施設の長寿命化に向けた営繕改良の実施

イ　学校施設の維持管理経費の節減に向けた省エネルギーの推進

③　学校適正規模・配置の検討

ア　鶴岡型小中一貫教育の教育的効果等を踏まえた適正な規模・配置の検討

⑶　図書館施設の適切な維持管理と最適な配置の検討

①　図書館本館のあり方検討と良好な施設環境の整備

ア　図書館本館の新館構想と計画の策定推進

イ　読書環境充実のための施設整備

ウ　郷土資料の適切な保存のための収蔵庫確保

⑷　公民館施設の適切な維持管理

①　中央公民館事業の充実

ア　誰もが安全安心かつ快適に利用できる施設環境の整備（照明設備等の更新・修繕）

イ　老朽化した施設設備の年次計画的な改修工事の調査検討（空調設備）　※

⑸　文化財の適切な維持管理

①　致道館管理運営事業

ア　史跡の保存管理

②　大宝館管理運営事業

ア　文化財建造物の保存管理

③　旧東田川郡役所及び郡会議事堂管理運営事業

ア　史跡の保存管理

④　松ヶ岡開墾場管理運営事業

ア　史跡の保存管理

⑤　丸岡城跡史跡公園管理事業

ア　史跡公園の保全管理

⑥　旧遠藤家管理運営事業

ア　文化財建造物の保存管理

⑹　文化施設の適切な維持管理

①　文化会館管理運営事業

ア　利用者の安全確保や施設の機能維持を図るための施設環境の整備

② 鶴岡アートフォーラムの管理運営事業

ア 利用者の安全確保や施設の機能維持を図るための計画的な施設・設備の修繕（非常用照明設備修繕等）

③ 藤沢周平記念館管理運営事業

ア 利用者の安全確保や施設の機能維持を図るための計画的な施設・設備の修繕（空調熱源機オーバーホール等）

⑺ スポーツ施設の適切な維持管理と最適な配置の推進

① 旧鶴岡病院跡地を活用して人工芝グラウンドを整備し、共生社会のもとで多目的に利用できる環境づくりの取組み

ア 市民ニーズに沿った施設の整備充実

イ 人工芝グラウンド整備の機能充実

ウ 共生社会のもとでの施設の整備充実

エ 多目的利用可能な機能充実

② 共生社会に向けた施設機能や利用者の安全確保を目指した既存スポーツ施設の修繕・改修

ア 指定管理者制度による適正かつ効率的な管理運営の推進

イ 共生社会に向けた施設の改修

ウ 利用者の安全確保に向けた施設の修繕・改修の推進

エ 全国大会・東北大会等が開催可能となるスポーツ施設の修繕・改修の推進

③ 地域住民が利用しやすい学校体育施設を含めたスポーツ施設の有効な活用と老朽化した施設の再配置の検討

ア 学校体育施設開放等による有効活用の推進

イ プールや陸上競技場等老朽化した施設の再配置を含めた整備と機能充実に向けた検討

ウ 市民ニーズに沿った施設整備の取組み

エ 利用者ニーズに沿ったトレーニングルームの機器整備の充実

オ 市の施策として支援が必要な利用者に対する施設使用料減免の推進

◎ 時代の要請を踏まえた教育行政、開かれた教育行政の推進・充実

社会情勢の変化に柔軟に対応し、教育行政を適切に運営するため、組織体制の整備・構築を図ります。

多様化する市民ニーズや課題に対応し、教育行政の運営を開かれたものとするため、各般の教育施策に関して、広報と市民ニーズの把握・反映を図ります。

⑴ 時代の要請に応じた教育行政の推進・充実

① 円滑な組織運営体制の構築

ア 各課・各機関・各施設と関係団体等との連携強化による適切で効果的な業務推進

イ 学校への統一のシステム導入による学校会計の効率化・透明化の検討

ウ ＩＣＴ活用等、社会動向を踏まえた制度改革、運営手法の見直し

② 危機管理体制の構築

ア 適切な災害対応、事件、事故等の未然防止のための組織的危機管理体制の構築

イ 災害時の避難所となる学校の防災設備の整備

③ 職員の資質向上と健康管理

ア 新しい情報や技術の進歩に対応し、資質を向上するための職員研修の実施

イ 職員の健康管理、職場倫理に対する意識啓発

⑵　開かれた教育行政の推進

①　的確な教育行政情報の提供

ア　教育広報の発行（市広報に折込み）

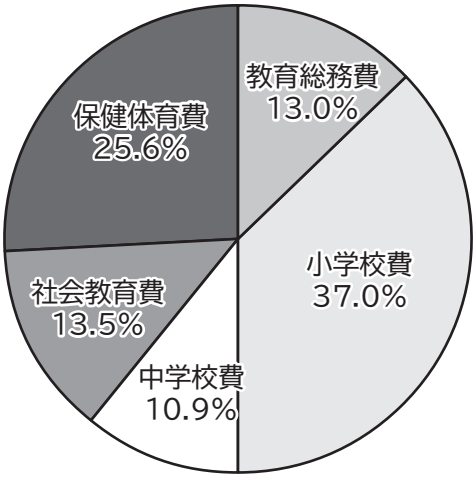
イ　教育概要「つるおかの教育」の発行

ウ　ホームページによる情報の提供と発信

② 市民ニーズの的確な把握と教育行政への反映

ア　各種懇談会等の機会をとらえての市民ニーズの集約と反映

Ⅲ　教　育　予　算（令和６年度当初）



教育費総額　8,680,984千円　　※一般会計総額　73,670,000千円

（単位：千円）

教育総務費	1,124,771
教育委員会費	5,345
事務局費	1,112,032
青少年健全育成費	7,249
幼稚園費	145

小学校費	3,216,770
学校管理費	578,664
教育振興費	476,669
学校建設費	2,161,437

中学校費	944,311
学校管理費	295,745
教育振興費	536,563
学校建設費	112,003

社会教育費	1,171,314
社会教育総務費	476,306
公民館費	75,477
図書館費	49,505
文化費	89,454
文化施設費	480,572

保健体育費	2,223,818
保健体育総務費	161,003
体育施設費	747,424
学校給食センター費	1,315,391

■ 学校教育関連施設

● 小　学　校

（令和６年５月１日現在）

学校名	学級数		児童数（人）		校舎面積（㎡）	屋内運動場面積（㎡）	校地面積（㎡）
	普通	支援	普通	支援			
朝陽第一小学校	18	6	499	22	7,701	1,358	24,830
朝陽第二小学校	10	3	245	13	6,562	1,426	29,908
朝陽第三小学校	18	6	526	21	7,221	1,558	20,837
朝陽第四小学校	18	6	502	26	6,895	1,604	22,409
朝陽第五小学校	12	6	344	27	3,849	765	28,305
朝陽第六小学校	19	7	528	26	5,877	1,108	27,290
斎小学校	6	2	104	2	2,330	863	15,896
黄金小学校	5	2	60	2	2,076	847	22,040
大泉小学校	6	2	115	2	3,227	638	23,683
京田小学校	6	2	127	4	2,235	851	14,493
上郷小学校	6	2	82	3	2,014	676	15,661
豊浦小学校	6	2	75	4	2,270	884	23,800
湯野浜小学校	6	2	83	3	3,331	1,119	20,814
大山小学校	12	4	283	10	4,271	978	18,757
西郷小学校	6	2	63	3	2,585	1,149	18,411
藤島小学校	11	2	261	3	4,119	995	27,861
東栄小学校	6	1	62	1	2,072	718	16,988
渡前小学校	4	2	44	4	2,284	719	18,391
羽黒小学校	6	2	169	7	4,318	1,429	33,617
広瀬小学校	6	3	134	5	3,399	1,064	22,369
櫛引東小学校	6	2	67	3	3,104	1,089	17,457
櫛引西小学校	8	3	182	9	3,506	1,150	22,804
櫛引南小学校	6	2	61	3	2,930	968	22,907
あさひ小学校	6	3	101	5	3,178	780	23,561
あつみ小学校	6	2	109	6	2,939	1,123	21,162
鼠ヶ関小学校	5	1	48	2	3,739	1,228	22,983
計	224	77	4,874	216			

※　面積の数値は施設台帳による。

● 中　学　校

（令和６年５月１日現在）

学　校　名	学　級　数		生 徒 数（人）		校 舎 面 積（㎡）	屋内運動場面 積（㎡）	校 地 面 積（㎡）
	普　通	支　援	普　通	支　援			
鶴岡第一中学校	17	4	525	10	7,067	1,854	32,855
鶴岡第二中学校	14	3	398	9	7,861	1,937	30,352
鶴岡第三中学校	17	4	505	11	7,403	2,283	29,393
鶴岡第四中学校	10	3	297	7	6,264	1,799	28,119
鶴岡第五中学校	9	5	259	14	6,933	2,487	40,578
豊 浦 中 学 校	3		53		2,929	1,037	25,976
藤 島 中 学 校	8	2	222	6	5,101	1,356	27,849
羽 黒 中 学 校	7	3	190	8	5,138	1,668	53,481
櫛 引 中 学 校	6	2	153	3	4,861	2,330	41,962
朝 日 中 学 校	3		76		3,124	1,603	30,327
温 海 中 学 校	3	2	104	4	6,040	2,082	58,116
計	97	28	2,782	72			

●鶴岡市教育センター

○教育研修所・理科教育センター（鶴岡市櫛引庁舎内）

１．施設概要　開設年月　教育研修所　昭和32年４月
　　理科教育センター　昭和39年４月
２．主要施設　教育研修所　教育研修室
　　理科教育センター

○教育相談センター（マリカ東館内）

１．施設概要　開設年月日　平成22年４月１日
　　延床面積　486㎡
２．主要施設　事務室、ロビー、学習室１・２、相談室１・２・３、研修室
３．利用案内　開館時間　９時～16時
　　休館日　土・日・祝日、年末年始（12月29日～１月３日）

○青少年育成センター（鶴岡市櫛引庁舎内）

１．施設概要　開設年月日　昭和40年４月１日
２．利用案内　開館時間　８時30分～17時15分
　　休館日　土・日・祝日、年末年始（12月29日～１月３日）

●鶴岡市学校給食センター

１．施設概要　開設年月　昭和62年４月
　　敷地面積　8,148㎡
　　建物面積　3,110㎡
　　構造　鉄骨造二階建
２．主要施設　調理方式　一棟二調理室、ドライ方式
　　調理能力　14,000食／１日
３．実施状況

⑴　給食実施数（令和６年５月１日現在）

区　分	学校数	学級数	児童、生徒 教職員等数	実施率 ％
小学校	17	176	4,546	100
中学校	8	85	2,630	100
センター			59	
計	25	261	7,235	

⑵　給食実施形態　完全給食週５回
　　主食の実施状況　米飯週４回、パン週１回（水または木曜日）
　　（パン給食のうち月１回は米飯給食に変更して実施）
　　※平成24年４月から羽黒地域の給食調理業務をセンターに統合

⑶　施設・設備
　①　牛乳用保冷庫全校に配置
　②　ランチルーム保有校（小学校10校、中学校１校）
　　朝暘第二小学校、朝暘第三小学校、斎小学校、黄金小学校、大泉小学校、京田小学校、豊浦小学校、湯野浜小学校、羽黒小学校、広瀬小学校、豊浦中学校
　③　学級用個人食器具
　　クラス用　ステンレス食缶２、バット大２、おたま２、トング２、ごはんべら２
　　個人用　ａ　椀１、皿１、米飯用椀１
　　ｂ　はし箱（丸スプーン、はし）…… 個人管理
　　ｃ　トレー　…… 学校管理

●藤島ふれあい食センター（愛称：サンサン）

1．施設概要　開設年月　　平成14年４月
　　敷地面積　　2,994㎡
　　建物面積　　1,334㎡
　　構　　造　　鉄骨造二階建
2．主要施設　調理方式　　ドライ方式
　　調理能力　　1,500食／１日
3．実施状況

⑴　給食実施数（令和６年５月１日現在）

区　分	学校数	学級数	児童、生徒 教職員等数	実施率 %
小学校	3	22	429	100
中学校	1	8	254	100
保育園	1	5	118	100
幼稚園	1	3	29	95
福祉施設	1		26	100
センター			10	
計	7	38	866	

⑵　給食実施形態　　完全給食週５回
　　主食の実施状況　　米飯週４回、パン週１回（水曜日）
　　（パン給食のうち月１回は米飯給食に変更して実施）
　　※平成25年４月から給食調理業務を民間委託実施
　　※食材を納入する「サンサン・畑の会」が令和３年度学校給食表彰（文部科学省）を受賞

⑶　施設・設備
　①　牛乳用保冷庫全校に配置
　②　ランチルーム保有校（小学校２校）
　　東栄小学校、渡前小学校
　③　学級用個人食器具
　　クラス用　　保温二重食缶１、バット大小各１、おたま、トング、ごはんべら１～２
　　個人用　　ａ　椀１、大皿１、中皿１、米飯用椀１
　　ｂ　はし箱（丸スプーン、はし）…… 個人管理
　　ｃ　トレー　…… センター管理

⑷　使用食器　　強化磁器

●櫛引学校給食センター

1．施設概要　開設年月　　平成８年４月
　　敷地面積　　1,188㎡
　　建物面積　　475㎡
　　構　　造　　鉄骨造平屋建
2．主要施設　調理方式　　ドライ方式
　　調理能力　　1,200食／１日

３．実施状況

⑴　給食実施数（令和６年５月１日現在）

区　　分	学　校　数	学　級　数	児童、生徒 教職員等数	実施率 ％
小　学　校	3	21	378	100
中　学　校	1	6	180	100
セ ン タ ー			13	
計	4	27	571	

⑵　給食実施形態　　完全給食週５回

主食の実施状況　　米飯週４回、パン週１回（木曜日）

（パン給食のうち月１回は米飯給食に変更して実施）

※平成23年４月から給食調理業務を民間委託実施

⑶　施設・設備

①　牛乳用保冷庫・おぼん用消毒保管庫全校に配置

②　ランチルーム全校（小学校３校、中学校１校）

櫛引東小学校、櫛引西小学校、櫛引南小学校、櫛引中学校

③　学級用個人食器具

クラス用　　保温二重食缶１、バット大２、おたま３、トング２、ごはんべら２

個人用　　ａ　椀１、大皿１、中皿１、小皿１、米飯用椀１

ｂ　はし箱（丸スプーン、はし）…… 個人管理

ｃ　トレー …… センター管理（洗浄後、配送し学校で保管）

●あさひ給食センター

１．施設概要　開設年月　　平成13年４月

敷地面積　　1,614㎡

建物面積　　559㎡

構造　　鉄骨造二階建

２．主要施設　調理方式　　ドライ方式

オール電化

調理能力　　1,000食／１日

３．実施状況

⑴　給食実施数（令和６年５月１日現在）

区　　分	学　校　数	学　級　数	児童、生徒 教職員等数	実施率 ％
小　学　校	1	6	123	100
中　学　校	1	3	89	100
セ ン タ ー			11	
計	2	9	223	

⑵　給食実施形態　　完全給食週５回

主食の実施状況　　米飯週４回、パン週１回（水曜日）

（パン給食のうち月１回は米飯給食に変更して実施）

※平成23年４月から給食調理業務を民間委託実施

⑶　施設・設備

①　牛乳用保冷庫全校に配置

②　学級用個人食器具

クラス用　アルミ二重食缶、シャトルコンテナ、コンテナ、保温箱、おたま、トング、ごはんべら

個人用　ａ　椀１、仕切皿１、米飯用椀１、カレー皿１、どんぶり１、小皿１

ｂ　はし箱（丸スプーン、はし）…… 個人管理

ｃ　トレー　…… センター管理

⑷　使用食器　　強化磁器（カレー皿のみ）

●あつみっこ給食センター

１．施設概要　開設年月　　平成14年１月

敷地面積　　2,017㎡

建物面積　　573㎡

構造　　鉄骨造平屋建

２．主要施設　調理方式　　ドライ方式

調理能力　　1,000食／１日

３．実施状況

⑴　給食実施数（令和６年５月１日現在）

区　分	学校数	学級数	児童、生徒 教職員等数	実施率 ％
小学校	2	11	195	100
中学校	1	6	126	100
センター			10	
計	3	17	331	

⑵　給食実施形態　　完全給食週５回

主食の実施状況　　米飯週４回　パン週１回（木曜日）

（パン給食のうち月１回は米飯給食に変更して実施）

※平成24年４月から給食調理業務を民間委託実施

⑶　施設・設備

①　牛乳用保冷庫全校に配置

②　学級用個人食器具

クラス用　アルミ食缶１、バット２、大杓子２、穴杓子１、おたま２、ごはんべら２、トング１、お盆１、ボール１

個人用　ａ　汁椀１、皿２（カレー皿・仕切り皿）、米飯用椀１

ｂ　はし箱（丸スプーン、はし）…… 個人管理

ｃ　トレー　…… センター管理

■ 社会教育関連施設

● 荘銀タクト鶴岡（鶴岡市文化会館）

1．施設概要　開設年月日　平成29年10月1日
（グランドオープン 平成30年３月18日）
敷地面積　13,096.84㎡
建物面積　5,756.35㎡

2．主要施設　観客席　大ホール固定席　1,120席、多目的鑑賞室　15席
舞台　間口18m　奥行き18m　オーケストラピット付
楽屋　６室（１：85㎡、２：32㎡、３：24㎡、４：26㎡、５：38㎡、６：44㎡）
その他　小ホール(最大180席)、会議室２室、練習室２室、託児室

3．利用案内　開館時間　９時～22時
休館日　年末年始（12月29日～１月３日）
使用料　次表のとおり（令和６年４月１日現在）

区分【冷暖房別】			基本使用料（円） 午前 9：00～12：00	午後 13：00～17：00	夜間 18：00～22：00	全日 9：00～22：00	時間使用 1時間につき
大ホール	入場料等0～500円	平日	13,500	24,800	31,600	62,100	①9：00～12：00 午前区分の1/3の額 ②12：00～17：00 午後区分の1/4の額 ③17：00～22：00 夜間区分の1/4の額 ④5：00～9：00 全日区分の2/11の額 ⑤22：00～5：00 全日区分の3/11の額
		休日等	16,200	29,800	37,900	74,500	
	入場料等501～1,000円	平日	19,000	34,800	44,200	86,900	
		休日等	22,800	41,800	53,000	104,300	
	入場料等1,001～3,000円	平日	24,400	44,700	56,900	111,800	
		休日等	29,300	53,600	68,300	134,200	
	入場料等3,001～5,000円	平日	29,800	54,600	69,500	136,600	
		休日等	35,800	65,500	83,400	163,900	
	入場料等5,000円超	平日	35,200	64,600	82,200	161,500	
		休日等	42,200	77,500	98,600	193,800	
小ホール	入場料等0円～500円	平日	4,400	8,000	10,200	20,000	
		休日等	5,300	9,600	12,200	24,000	
	入場料等501～1,000円	平日	7,400	13,600	17,300	34,000	
		休日等	8,900	16,300	20,800	40,800	
	入場料等1,000円超	平日	8,700	16,000	20,400	40,000	
		休日等	10,400	19,200	24,500	48,000	
練習室		練習室1	2,400	4,400	5,600	11,000	
		練習室2	1,300	2,400	3,100	6,100	
楽屋（ホール利用時は1/2）		楽屋1	2,100	3,800	4,800	9,400	
		楽屋2～6	1,300	2,400	3,000	5,900	
会議室		会議室1	1,200	2,100	2,700	5,300	
		会議室2	2,600	4,700	6,000	11,700	
託児室（ホール利用時は無料）			900	1,600	2,000	3,900	
駐車場等（イベント等で使用時）			（1平方メートルあたり1時間につき）4				

４．利用状況（令和５年度）

事業区分	件数	利用者数
自主事業等	59	21,347
貸館事業	251	57,424
合　　計	310	78,771

● 鶴岡アートフォーラム

撮影　篠澤　裕

１．施設概要　開設年月日　平成17年８月27日
敷地面積　7,040㎡
建物面積　4,143㎡

２．主要施設　展示　ギャラリー１（１Ｆ）：485㎡
ギャラリー２（２Ｆ）：486㎡
エクステンションギャラリー（１Ｆ）：271㎡
各種イベント　交流広場・フォーラム（１－２Ｆ）：236㎡
制作　アトリエ（１Ｆ）：126㎡
保管　一時保管庫（１Ｆ）：47㎡
収蔵庫（２Ｆ）：176㎡＋デッキ78㎡
会議　大会議室（２Ｆ）：96㎡
会議室１（２Ｆ）：18㎡
会議室２（２Ｆ）：27㎡

３．利用案内　開館時間　９時～21時30分（ギャラリーは18時30分まで）
休館日　月曜日（月曜日が祝日のときはその翌日）
年末年始（12月29日～１月３日）
使用料　次表のとおり

[展示室使用料（令和６年４月１日現在）]

区分	基本使用料（円）			
	前半 ９時から 13時30分まで	後半 13時30分から 18時30分まで	全日 ９時から 18時30分まで	左記以外の時間 （１時間につき）
ギャラリー１Ａ	2,110	2,330	4,030	580
ギャラリー１Ｂ	2,760	3,070	5,310	740
ギャラリー１Ｃ	2,760	3,070	5,310	740
ギャラリー２Ａ	4,990	5,520	9,560	1,370
ギャラリー２Ｂ	3,930	4,350	7,430	1,050

[諸室使用料（令和６年４月１日現在）]

区分	基本使用料（円）				
	午前 ９時から 12時30分まで	午後 12時30分から 17時まで	夜間 17時から 21時30分まで	全日 ９時から 21時30分まで	左記以外の時間 （１時間につき）
制作室	1,850	2,440	2,440	6,060	630
大会議室	1,590	2,010	2,010	5,060	530
会議室１	230	310	310	770	100
会議室２	420	530	530	1,330	150
交流広場	－	－	4,010	－	1,060

４．利用状況（令和５年度）

事業区分	ギャラリー		諸室	
	件数	人数	件数	人数
自主事業	25	24,557	263	3,414
貸館事業	37	24,176	1,059	14,142
合計	62	48,733	1,322	17,556

○常設展示コーナー入場者数（令和５年度）

第１期（４/１～６/25）：2,213人　第２期（７/１～９/24）：2,443人

第３期（９/30～12/24）：2,485人　第４期（１/６～３/31）：2,156人　合計：9,297人

● 藤沢周平記念館

１．施設概要　開設年月日　平成22年４月29日

敷地面積　1,719㎡

建物面積　929㎡

２．主要施設　展示室　218㎡

展示準備室　32㎡

特別収蔵庫　178㎡

サロン　53㎡

会議室　26㎡

研究者閲覧室　27㎡

３．利用案内　開館時間　９時～16時30分（受付終了時間）

休館日　水曜日（休日の場合は翌平日）

年末年始（12月29日～１月３日）

入館料　（令和６年４月１日現在）

大人	320円［250円］
高大生	200円［160円］
中学生以下	無料

※［　］は、20名以上の団体料金

年間入館券　1,000円（本人及び同伴者1名まで）

４．利用状況（令和５年度）　（単位：人）

大人	高校生大学生	中学生以下※	団体割引適用	障がい者割引適用	年間入館券利用	観光共通券利用※	無料・全額免除	計
9,017	101	262	626	167	942	1,318	393	12,826

※ 中学生以下は無料、観光共通券は期間限定

● 中央公民館

１．施設概要　　開設年月日　　昭和59年７月１日
　　敷 地 面 積　　5,075㎡
　　建 物 面 積　　4,395㎡

２．主要施設　　１階：市民ホール（固定席 466席、車いす席６席）、大視聴覚室、談話室
　　２階：第１・２研修室、第１・２会議室、第１・２和習室、美術実習室
　　３階：プラネタリウム室（固定席78席）、教材制作室、視聴覚室、スタジオ、視聴覚研修室

３．利用案内　　開 館 時 間　　９時～22時
　　休　館　日　　年末年始（12月29日～１月３日）

４．利用状況（令和５年度）　　（単位：人）

利 用 者 区 分	回　数	人　数
主催・共催事業（プラネタリウム含む）	378	9,728
市役所・教育関係	314	4,783
学校関係	160	6,427
官公庁・公共団体	11	393
福祉・補導等育成団体	4	73
消防・防犯・交通安全団体	0	0
青少年団体	0	0
女性団体	5	83
高齢者団体	22	835
スポーツ・レク団体	21	1,493
芸術文化・サークル等	1,340	22,798
産業労働団体	53	964
市民ギャラリー	8	974
公民館開放事業	360	1,440
合　　計	2,676	49,991

●中央公民館女性センター

１．施設概要　　開設年月日　　昭和57年４月１日
　　敷 地 面 積　　2,138㎡
　　建 物 面 積　　964㎡

２．主要施設　　１階：図書室、調理室、託児室、研修室Ａ･Ｂ
　　２階：会議室、軽運動ホール、研修和室、
　　講話室

３．利用案内　　開 館 時 間　　平日：９時～22時
　　第２・４土曜日：９時30分～16時（利用申込みがない場合は休館）
　　休　館　日　　第２・４土曜日を除く土・日・祝日、年末年始（12月29日～１月３日）

４．利用状況（令和５年度）　　（単位：人）

利 用 者 区 分	回　数	人　数
個　別　利　用	642	2,063
登録サークル利用	699	6,497
そ　の　他	56	449
合　　計	1,397	9,009

● 図書館本館・分館

⑴ 本　館

・開設年月日　　大正４年11月10日（現本館開館 昭和60年７月24日）
・図書収容能力　　278,000冊
・駐　車　場　　56台
・開 館 時 間　　平日：９時30分～19時（12月～２月は18時）
　　土・日・祝日：９時30分～17時
・休　館　日　　月曜日（祝日の場合は火曜日）
　　年末年始（12月29日～１月３日）
　　特別図書整理期間
・開 館 日 数　　301日
・入 館 者 数　　163,633人
・貸出利用者数　　69,923人

・貸 出 冊 数　　（冊）

一般図書【合計 202,696】		児童図書【合計 101,269】		録音図書等	計
個　　人	団 体 貸 出	個　　人	団 体 貸 出		
200,828	1,868	93,052	8,217	2,861	306,826

≪自動車文庫≫

・開 設 日 数　　153日
・開 設 場 所　　54ヶ所／述べ開設数　609ヶ所
・貸出利用者数　　6,600人
・貸 出 冊 数　　（冊）

一般図書【合計 8,849】		児童図書【合計 23,005】		録音図書等	計
個　　人	団 体 貸 出	個　　人	団 体 貸 出		
7,531	1,318	12,776	10,229	0	31,854

⑵ 藤島分館

・開 設 年 月　　昭和46年４月
　　（東田川文化記念館に併設 平成８年６月）
・開 館 時 間　　９時～17時
・休　館　日　　月曜日、年末年始（12月29日～１月３日）
・開 館 日 数　　309日
・入 館 者 数　　17,200人
・貸出利用者数　　4,687人

・貸 出 冊 数　　（冊）

一般図書【合計 10,989】		児童図書【合計 5,910】		録音図書等	計
個　　人	団 体 貸 出	個　　人	団 体 貸 出		
10,982	7	5,776	134	3	16,902

⑶ 羽黒分館

・開設年月日　　平成17年10月１日
　　（羽黒庁舎に併設 平成29年１月10日）
・開 館 時 間　　９時～18時（土・日・祝日は９時～17時）
・休　館　日　　年末年始（12月29日～１月３日）
・開 館 日 数　　358日
・入 館 者 数　　8,385人
・貸出利用者数　　5,228人
・貸 出 冊 数

（冊）

一般図書【合計 11,719】		児童図書【合計 8,877】		録音図書等	計
個　　人	団 体 貸 出	個　　人	団 体 貸 出		
11,708	11	8,573	304	106	20,702

⑷ 櫛引分館

・開 設 年 月　　昭和61年４月
　　（櫛引情報センターに併設）
・開 館 時 間　　９時～18時（土・日・祝日は９時～17時）
・休　館　日　　月曜日（祝日の場合は火曜日）
　　年末年始（12月29日～１月３日）
・開 館 日 数　　309日
・入 館 者 数　　6,125人
・貸出利用者数　　4,075人
・貸 出 冊 数

（冊）

一般図書【合計 8,565】		児童図書【合計 9,401】		録音図書等	計
個　　人	団 体 貸 出	個　　人	団 体 貸 出		
8,489	76	8,747	654	4	17,970

⑸ 朝日分館

・開設年月日　　平成17年10月１日
　　（朝日中央コミュニティセンターすまいるに併設）
・開 館 時 間　　９時～18時　（土・日・祝日は９時～17時）
・休　館　日　　月曜日（祝日の場合は火曜日）
　　年末年始（12月29日～１月３日）
・開 館 日 数　　309日
・入 館 者 数　　6,192人
・貸出利用者数　　2,521人
・貸 出 冊 数

（冊）

一般図書【合計 5,641】		児童図書【合計 4,650】		録音図書等	計
個　　人	団 体 貸 出	個　　人	団 体 貸 出		
5,469	172	3,700	950	0	10,291

⑹ 温海分館

・開設年月日　　平成17年10月１日
　　（温海ふれあいセンターに併設）
・開 館 時 間　　９時～17時
・休　館　日　　年末年始（12月29日～１月３日）
・開 館 日 数　　358日
・入 館 者 数　　8,640人
・貸出利用者数　　5,429人
・貸 出 冊 数

（冊）

一般図書【合計 13,591】		児童図書【合計 5,727】		録音図書等	計
個　　人	団 体 貸 出	個　　人	団 体 貸 出		
13,421	170	3,350	2,377	21	19,339

⑺ 本館・分館蔵書冊数（令和６年３月31日現在）

（冊）

本　　館	藤島分館	羽黒分館	櫛引分館	朝日分館	温海分館	合　　計
277,700	29,778	22,509	31,748	35,150	17,613	414,498

● 郷土資料館

１．施設概要　　開設年月日　　昭和51年６月１日
　　（図書館本館に併設 平成20年１月１日）
２．利用案内　　開 館 時 間　　９時30分～17時
　　休　館　日　　図書館本館と同じ
　　＊郷土史の調査・研究のための史料を多く所蔵しており、閲覧に供し、相談を受け付けるとともに、郷土ゆかりの企画展示や各種講座を開催しています。

● 藤島農村環境改善センター

１．施設概要　　開 設 年 月　　昭和58年４月
　　敷 地 面 積　　12,216㎡
　　建 物 面 積　　1,140㎡
２．主要施設　　事務室、多目的ホール（バレーボール１面）、生活改善実習室、婦人研修室、第１・２・３研修室、厨房、浴室
３．利用案内　　開 館 時 間　　９時～22時
　　休　館　日　　年末年始（12月29日～１月３日）
　　＊宿泊が可能な施設であることと運動広場が併設されていることから、スポーツ団体（スポ少、中高部活）の合宿等にも利用することができます。
４．利用状況（令和５年度）

利　用 団体数	利用人数 （　）は延べ人数	男	女
3	121 (128)	77 (77)	44 (51)

● 櫛引生涯学習センター（櫛引農村環境改善センター）

１．施設概要　　開 設 年 月　　平成30年４月
　　敷 地 面 積　　3,390㎡
　　建 物 面 積　　1,592㎡
２．主要施設　　多目的ホール、調理室、生活実習室、
　　第１・２研修室、講座室、会議室、控室
３．利用案内　　開 所 時 間　　９時～22時
　　休　所　日　　年末年始（12月29日～１月３日）
　　＊300人収容可能な多目的ホールを備え、コンサートや演劇など各種公演や講演会等で利用が可能なほか、使用用途に合わせて利用できる部屋も備えているので、生涯学習の場として活用することができます。
４．利用状況（令和５年度）

部　屋　名	利用件数	利用人数	部　屋　名	利用件数	利用人数
多目的ホール	38	909	講　座　室	10	145
調　理　室	4	22	会　議　室	11	53
第１研修室	0	0	控　室	9	56
第２研修室	3	17	そ　の　他	6	109
第１・２研修室	10	243	合　計	91	1,554

※令和5年5月8日以降、耐震改修工事のため貸館を停止

● 大鳥自然の家

１．施設概要　　開設年月日　　昭和61年４月１日
　　敷 地 面 積　　19,324㎡
　　建 物 面 積　　1,597㎡
２．主要施設　　体育館、食堂、宿泊室（５）
　　研修室（１）：定員80名
３．利用案内　　休　館　日　　年末年始（12月29日～１月３日）
　　＊カヌー、川遊び、魚つかみ、大鳥池登山、
　　トレッキング、山菜採りなど、豊かな自然を活かした体験や学習ができます。
４．利用状況（令和５年度）　42件　2,188人

● 温海ふれあいセンター

１．施設概要　　開 設 年 月　　平成元年12月
　　敷 地 面 積　　12,885.22㎡
　　建 物 面 積　　2,041.74㎡
２．主要施設　　第１・２研修室、実習室、視聴覚室、
　　第１・２会議室、多目的ホール、資料室、
　　事務室、図書館温海分館
３．利用案内　　開 所 時 間　　９時～22時
　　休　所　日　　年末年始（12月29日～１月３日）
　　＊700人収容可能な多目的ホールを備え、コンサートや演劇など各種公演や講演会等で利用が可能なほか、使用用途に合わせて利用できる部屋も備えているので、生涯学習の場として活用することができます。
４．利用状況（令和５年度）

区　分	第１・２研修室	実習室	視聴覚室	第１・２会議室	多目的ホール	資料室	その他	合　計
人　数	1,834	1,962	2,394	5,243	4,999	239	35	16,706

指定文化財一覧

1　国指定（文化財保護法によるもの）　（令和６年４月１日現在）

区分			件数	備考	
有形文化財	国宝	建造物	1	羽黒山五重塔	
		工芸品	2	太刀　２口　「銘　信房作」、「銘　真光」	
	重要文化財	建造物	9	水上八幡神社本殿、羽黒山正善院黄金堂、旧西田川郡役所、旧渋谷家住宅、鶴岡カトリック教会天主堂、羽黒山三神合祭殿及び鐘楼、旧風間家住宅、金峯神社本殿、旧鶴岡警察署庁舎	
		絵画	1	絹本著色「王昭君図」	
		彫刻	1	銅造如来立像	
		工芸品	7	銅燈籠竿、短刀「銘吉光」、色々威胴丸、銅鉢、梵鐘、能装束（２件）	
		書跡	1	禅院額字「潮音堂」	
		考古資料	1	銅鏡「羽黒山御手洗池出土」	
民俗文化財	重要無形民俗文化財		2	黒川能、松例祭の大松明行事	
	重要有形民俗文化財		8	庄内のばんどりコレクション	116点
				庄内の木製酒器コレクション	77点
				庄内の仕事着コレクション	126点
				大宝寺焼コレクション	234点
				庄内及び周辺地のくりものコレクション	250点
				庄内浜及び飛島の漁撈用具	1,937点
				最上川水系の漁撈用具	810点
				庄内の米作り用具	1,800点
史跡・名勝天然記念物	特別史跡・名勝	特別天然記念物	1	羽黒山のスギ並木	
	史跡		4	旧致道館、松ヶ岡開墾場、小国城跡、旧東田川郡役所及び郡会議事堂	
	名勝		3	金峯山、酒井氏庭園、玉川寺庭園	
	天然記念物		8	熊野神社の大スギ、文下のケヤキ、南谷のカスミザクラ、羽黒山の爺スギ、山五十川の玉スギ、早田のオハツキイチョウ、月山、三瀬気比神社社叢	
計			49		

2　県指定（県文化財保護条例によるもの）

区分		件数
有形文化財	建造物	7
	絵画	5
	彫刻	12
	工芸品	32
	書跡	5
	典籍	3
	考古資料	8
	歴史資料	6
民俗文化財	無形民俗文化財	3
	有形民俗文化財	3
史跡・名勝天然記念物	史跡	6
	名勝	1
	天然記念物	10
計		101

3　市指定（市文化財保護条例によるもの）

区分		件数
有形文化財	建造物	11
	絵画	30
	彫刻	62
	工芸品	52
	書跡	29
	典籍	3
	古文書	41
	考古資料	14
	歴史資料	46
民俗文化財	無形民俗文化財	8
	有形民俗文化財	15
史跡・名勝天然記念物	史跡	24
	天然記念物	26
計		361

4　国登録（文化財保護法によるもの）

区分		件数	備考
有形文化財	建造物	19	石名坂家住宅主屋・（同）蔵、安良町公民館（旧鶴岡警察署大山分署）、風間家旧宅（丙申堂）表門・（同）西側板塀、旧鶴岡町消防組第八部消防ポンプ庫、風間家旧別邸無量光苑釈迦堂、（同）土蔵・（同）表門・（同）中門・（同）北門・（同）板塀、善寶寺龍王殿・（同）五百羅漢堂・（同）龍華庵・（同）五重塔・（同）山門・（同）総門・旧小池薬局恵比寿屋本店

● 国指定史跡　旧致道館

1．施設概要　指定年月日　昭和26年６月９日
建　築　年　文化13年（1816年）
現存建物　表御門、西御門、東御門、聖廟、講堂、御入間
敷地面積　7,034㎡
＊講堂に藩校資料を展示し、致道館教育の特色を今に伝える。講堂の東側には、養老堂をはじめ現存しない校舎の主要な部分について、当時の建物の間取りを平面的に表示している。

2．公　開　開館時間　９時～16時30分
休　館　日　水曜日(休日の場合は翌平日)、年末年始（12月29日～１月３日）
入　館　料　無料
入館者数（令和５年度）　20,466人

● 国指定史跡　旧東田川郡役所及び郡会議事堂（東田川文化記念館）

東田川郡役所及び郡会議事堂

1．施設概要　指定年月日　令和５年３月20日
建　築　年　明治20年（1887年）
現存建物　旧東田川郡役所、旧東田川郡会議事堂、旧東田川電気事業組合倉庫、土蔵
敷地面積　5,592.83㎡
＊郡庁舎と議事堂は復元工事により、当時の工法を忠実に再現し、明治から歩んできた文化や歴史を伝えている。
平成８年から東田川文化記念館として、地域連携講座やコンサートなど、広域的な人々の芸術文化、生涯学習の拠点として幅広く利用されている。

2．公　開　⑴山形県指定有形文化財　旧東田川郡役所
１階　展示場及びギャラリー藤
開館時間　９時～16時30分
⑵山形県指定有形文化財　旧東田川郡会議事堂
１階　鶴岡市立図書館藤島分館
開館時間　９時～17時
談話室
開館時間　９時～21時30分
２階　明治ホール
開館時間　９時～21時30分
⑶管理棟　旧東田川郡電気事業組合倉庫
１階　象のギャラリー・事務室
２階　藤島の歴史（日本一の独木船）展示
開館時間　９時～16時30分
休　館　日　月曜日（休日の場合は翌平日）　年末年始（12月29日～1月3日）
展示見学　無料（施設利用一部有料）
解説ボランティア　要予約対応
入館者数（令和５年度）10,574人、図書館藤島分館 17,200人

● 国指定史跡　松ヶ岡開墾場

1．施設概要　指定年月日　平成元年８月11日
建　築　年　明治８年（1875年）
現存建物　一番蚕室、二番蚕室、三番蚕室、四番蚕室、五番蚕室、貯桑土蔵、寄宿舎　ほか
敷地面積　20,629㎡

＊蚕室などを活用し、開墾や養蚕に関連した歴史展示や体験を行っている。

2．公　開　施設全般（一番蚕室を除き入館無料）
開館時間　９時～16時
休　館　日　水曜日（休日の場合は翌平日）、年末年始（12月29日～１月３日）

一番蚕室（開墾記念館）
入　館　料　個人　300円（中学生以下は無料）
団体　250円（20名以上を団体扱）
入館者数（令和５年度）　4,337人

四番蚕室（シルクミライ館）
入館者数（令和５年度）　19,036人

五番蚕室（蚕室構造見学施設）
入館者数（令和５年度）　4,156人

● 県指定史跡　丸岡城跡及び加藤清正墓碑

1．施設概要　指定年月日　昭和38年１月22日
指定面積　16,038㎡

＊丸岡城の御書院や御居間などの柱の礎石部分を表し、当時の建物の間取りを平面的に表示している。石敷き道路や水路などの一部は復元して、往時を偲ぶ丸岡城跡史跡公園として公開している。

● 県指定有形文化財　旧遠藤家住宅

1．施設概要　指定年月日　昭和49年４月１日
建　築　年　文化文政年間（1804年～1830年）と推定
構　造　木造多層兜造茅葺
建物面積　419.86㎡（１階171.19㎡、２階127.20㎡、３階121.47㎡）

＊県内でも有数の豪雪地帯である田麦俣集落に数多く見られた「兜造り」の多層民家の代表的なものであり、江戸時代後期の文化文政年間に建築されたと推定される。屋根の妻側から見た姿が、武者のかぶった兜の姿に似ていることから兜造りと呼ばれ、狭い山峡の敷地と深い雪の生活に適応して三層四層に空間を求めている造りである。

２．公　　開　　開館時間　　９時～17時
休　館　日　　月曜日(休日の場合は翌平日)、年末年始(12月29日～１月３日)
入　館　料　　個人　小・中学生200円、高校生以上300円
団体　小・中学生100円、高校生以上250円(20名以上を団体扱)
入館者数（令和５年度）　707人

● 市指定有形文化財　大宝館

１．施設概要　　指定年月日　　昭和56年１月27日
建　築　年　　大正４年（1915年）
構　　造　　木造２階建
建物面積　　534㎡
＊大正天皇の即位を記念して創建された洋風建築であり、大正建築の優美さを今に伝える。本市出身並びに本市の発展に貢献した方々の業績を紹介する施設として保存活用している。

２．公　　開　　開館時間　　９時～16時30分
休　館　日　　水曜日(休日の場合は翌平日)、年末年始(12月29日～１月３日)
入　館　料　　無料
入館者数（令和５年度）　20,132人

● 市指定有形文化財　日向家住宅

１．施設概要　　指定年月日　　平成８年７月25日
建　築　年　　文久２年（1862年）
復元建築年　　平成28年２月１日
構　　造　　木造平屋造
延床面積　　170㎡
＊江戸末期の武家住宅であり、市内鳥居町にあったものを復元し、丸岡城跡史跡公園のガイダンス施設として保存活用している。

２．公　　開　　開館時間　　10時～16時
開　館　日　　４月から11月の土曜日、日曜日
入　館　料　　無料
入館者数（令和５年度）　531人

■ スポーツ関連施設

● 学校体育施設開放

1．開放の目的

学校体育施設（体育館・グラウンド）を学校教育に支障のない限り、市民の健全な余暇利用の場として開放し、健康・体力作りとレクリエーション活動の場に役立てます。

2．開放校の指定

市内小・中学校全般

＊細部については各開放校の運営委員会等で定めます。

3．学校体育施設利用状況（令和５年度）

＜鶴岡地域＞

No.	開放校	利用人数	No.	開放校	利用人数	No.	開放校	利用人数
1	朝一小	33,557	9	大泉小	22,442	17	鶴二中	8,855
2	朝二小	16,898	10	京田小	9,519	18	鶴三中	9,875
3	朝三小	20,313	11	上郷小	1,657	19	鶴四中	4,126
4	朝四小	23,329	12	豊浦小	5,126	20	鶴五中	12,503
5	朝五小	14,605	13	湯野浜小	6,723	21	鶴五中武道館	2,037
6	朝六小	11,061	14	大山小	10,736	22	豊浦中	1,958
7	斎小	16,638	15	西郷小	4,764			
8	黄金小	6,163	16	鶴一中	7,182		計	250,067

＜藤島地域＞

No.	開放校	利用人数	No.	開放校	利用人数	No.	開放校	利用人数
1	藤島小	3,048	3	渡前小	2,374			
2	東栄小	284	4	藤島中	4,005		計	9,711

＜羽黒地域＞

No.	開放校	利用人数	No.	開放校	利用人数	No.	開放校	利用人数
1	羽黒小	3,497	3	羽黒中	7,437			
2	広瀬小	4,670					計	15,604

＜櫛引地域＞

No.	開放校	利用人数	No.	開放校	利用人数	No.	開放校	利用人数
1	櫛引東小	2,070	3	櫛引南小	3,838	5	櫛引中柔道場	726
2	櫛引西小	5,860	4	櫛引中	5,455		計	17,949

＜朝日地域＞

No.	開放校	利用人数	No.	開放校	利用人数	No.	開放校	利用人数
1	あさひ小	2,832						
2	朝日中	4,816					計	7,648

＜温海地域＞

No.	開放校	利用人数	No.	開放校	利用人数	No.	開放校	利用人数
1	あつみ小	4,800	3	温海中	2,880			
2	鼠ヶ関小	6,987					計	14,667

●体育施設

＜鶴岡地域＞　　（面積：㎡）

区分・施設名等		敷地面積	延床面積	開設年	概要
小真木原公園（公園面積22.9ha）	つるしんアリーナ小真木原（小真木原総合体育館）	9,000	9,059	平３	バスケットボール２面・バレーボール３面・バドミントン12面・卓球40面、トレーニングルーム、屋内ランニングコース（１周200ｍ）、観覧席（1,720人）、ロールバック式固定席２式(1,000人)、第１・第２多目的ホール
	朝暘武道館	10,400	5,605	平13	柔道場常設２面、剣道場常設２面、弓道場近的10人立・遠的６人立、大武道場、観客席500
	小真木原陸上競技場	24,880	2,294	昭57	第二種公認、全天候型トラック400ｍ・８レーン、走り幅跳、三段跳、走り高跳、ハンマー投、槍投、砲丸投、円盤投、（各２箇所）、棒高跳（６箇所）、室内走路、メインスタンド(2,500人)、芝生スタンド（4,500人）、自動着順判定装置、器具庫
	小真木原テニスコート	10,400	300（クラブハウス）	平３	全天候型砂入人工芝12面、夜間照明設備（コインタイマー）
	小真木原スケート場	1,800	同上	平４	冬期間、テニスコート４面使用（12月～２月）アイスホッケーリンク
	小真木原相撲場	1,400	110	平６	土俵１（屋根付）、固定席（432席、芝生スタンド）
	屋内相撲場		238	平12	土俵２
	東多目的広場	9,400		昭54	芝

（面積：㎡）

区分・施設名等		敷地面積	延床面積	開設年	概　　要
小真木原公園（公園面積22.9ha）	南多目的広場（愛称：ゆみ～る小真木）	10,814	93	平４	芝、バックネット２、アーチェリー用防矢ネット、倉庫
	小真木原野球場（愛称：鶴岡ドリームスタジアム）	27,040	4,531	平11	センター122m/両翼97.6m、夜間照明設備（内野平均照度900ルクス以上､外野平均照度600ルクス以上）収容人員（内野スタンド5,500人、外野スタンド（芝）6,500人、計12,000人）グラウンド（内､外野天然芝）
プール	市民プール	10,061	3,156	平元	50m･25m公認プール（50m･９コース、25m・21コース）
体育館	宝田体育館	2,141	1,036	昭60	バスケットボール１面、・バレーボール２面・バドミントン６面・卓球10面・テニス１面
市民運動場	東部運動広場	9,810		平４	サッカーゴール１対、バックネット、夜間照明（コインタイマー）
	大山運動広場	14,200		平元	サッカーゴール１対、バックネット、夜間照明（コインタイマー）
	ＪＡ鶴岡だだちゃアリーナ（屋内多目的運動場）	10,822	5,402	令３	フットサルコート２面、テニスコート４面、ゲートボールコート８面、２階ホール、ウォーキングコース(230m/周)
	八森山レクリエーション広場	81,714	417（ヒュッテ）	昭32	キャンプ場、多目的広場、散策路、ヒュッテ（３階建)、遊具
夜間照明施設	鶴岡第二中学校グラウンド	10,795		昭63	平20．９改修 夜間照明（コインタイマー)、器具庫１、トイレ
	鶴岡第四中学校グラウンド	17,015		平３	夜間照明（コインタイマー)、器具庫１、トイレ
赤川河川緑地	陸上競技場	23,400		昭44	トラック400m・８レーン
	サッカー場Ａ	13,200			サッカーゴール１対
	サッカー場Ｂ	15,400			サッカーゴール１対
	野球場Ａ	9,100			バックネット
	ラグビー場	12,000		昭53	
	第二自由広場	10,957		平８	芝〈グラウンドゴルフ場・ゲートボール場〉
	野球場Ｂ	9,262		昭54	バックネット
	ソフトボール場	11,817		昭51	

区分・施設名等		敷地面積	延床面積	開設年	概　　要
赤川河川緑地	子供広場	15,210		昭57	バックネット
	自由広場A	11,487		昭58	広場、園路
	自由広場B	10,957		昭59	広場、園路
	赤川市民ゴルフ場	173,396		平元	９ホール（パー35）
	鶴岡市グラウンド・ゴルフ場	26,800		平23	８ホール×６コース

つるしんアリーナ小真木原（こまぎはら）
（小真木原総合体育館（こまぎはらそうごうたいいくかん））

朝陽武道館（ちょうようぶどうかん）

鶴岡（つるおか）ドリームスタジアム

＜藤島地域＞　　（面積：㎡）

区分・施設名等		敷地面積	延床面積	開設年	概　　要
体育館	藤島体育館	21,522	6,156 （屋内運動場含む）	平８	バスケットボール２面・バレーボール２面・バドミントン６面・卓球24面・テニス２面、屋内ランニングコース（１周190m）、観覧席(420人)、ステージ、軽スポーツルーム、トレーニングルーム、屋内運動場（クライミングウォールＨ８ｍＷ６ｍ）、会議室２
ふれあいと躍動の広場	グラウンドゴルフ場	7,854	69 (クラブハウス)	平９	東西各８ホール、クラブハウス（ミーティングルーム、トイレ）
	テニスコート	3,169		平９	砂入人工芝２面、 クレーコート２面
市民運動場	藤島運動広場	19,900	84 （管理棟）	昭57	バックネット、サッカーゴール1対、夜間照明（コインタイマー）、管理棟（用具庫、トイレ）

藤島体育館（ふじしまたいいくかん）

ふれあいと躍動（やくどう）の広場（ひろば）
グラウンドゴルフ場（じょう）

＜羽黒地域＞　　（面積：㎡）

区分・施設名等		敷地面積	延床面積	開設年	概　　要
体　育　館	羽　黒　体　育　館	9,295	3,759	平３	バドミントン６面・バスケットボール２面・バレーボール２面・テニス２面、卓球５台、トレーニングルーム、トレーニングスタジオ、会議室、研修室、ステージ（固定）観覧席(144)
	羽黒体育センター	1,184	764	昭57	バドミントン３面・バスケットボール１面・バレーボール１面、卓球２台、ステージ（固定）
テニスコート	羽黒テニスコート	4,342		平５	砂入人工芝４面、夜間照明、男女トイレ

羽黒体育館（はぐろたいいくかん）

羽黒体育センター（はぐろたいいく）

羽黒テニスコート（はぐろ）

＜櫛引地域＞　　（面積：㎡）

区分・施設名等		敷地面積	延床面積	開設年	概　　要
体　育　館	櫛引スポーツセンター	6,726	6,637	平７	アリーナ（バスケットボール２面・バレーボール２面・バドミントン６面）、武道場（剣道２面）、クレーコート、トレーニングルーム、観覧席(304席)、合宿室、軽スポーツコーナー
櫛引総合運動公園	陸　上　競　技　場	22,317		平元	400mトラック・８レーン、走り幅跳び、砲丸投げ、芝生グラウンド（サッカー場）、護岸観覧席(1,280人)
	多　目　的　広　場	15,141		平元	
	野　　球　　場	14,533		平３	ナイター照明設備４基、センター112m・両翼98m
	イベント広場（東・西）	5,645		平３・４	東（芝生）、西（アスファルト駐車場）
	野外ステージ・観覧席	1,812		平３	野外ステージ・芝生観覧席
	グラウンドゴルフ場	3,328		平３	12ホール
	ゲートボール場	1,583		平３	２面
	なべっこ広場	934		平３	かまど

区分・施設名等		敷地面積	延床面積	開設年	概　　要
夜間照明設備	櫛引中学校グラウンド	19,629		平13	ナイター照明設備４基

櫛引スポーツセンター

櫛引総合運動公園　野球場

＜朝日地域＞　　（面積：㎡）

区分・施設名等		敷地面積	延床面積	開設年	概　　要
朝日スポーツセンター	体　育　館	12,766	2,383	平５	バスケットボール２面・バレーボール２面・バドミントン２面・フットサル１面、レクリエーション室
	運　動　場	17,451		昭57	トラック300ｍ・内部天然芝（野球１面、サッカー１面）
	テニスコート	2,554		平６	全天・砂入人工芝２面、夜間照明（コインタイマー）
	ゲートボール場	1,469		平６	２面
	プ　ー　ル	1,146		昭59	25m・７コース

朝日スポーツセンター

＜温海地域＞　　（面積：㎡）

区分・施設名等		敷地面積	延床面積	開設年	概　　要
野　球　場	温海総合運動場	23,563	440	昭57	野球場１面、ナイター設備、管理棟
テニスコート	温海湯見ヶ代運動場	14,687	100	昭63	全天候透水型ゴムチップウレタン５面、管理棟

温海総合運動場

鶴岡市スポーツ振興関係団体　組織図

鶴岡市教育委員会　沿革（略年表）

平成17.10.1	市町村合併により、鶴岡市教育委員会発足
18.３.31	櫛引東小学校慌代分校廃校
18.４.１	機構改革により、分室は教育課、学校教育班・社会教育体育班体制となる。
18.５.１	教育委員会事務局三課、櫛引庁舎に移転する。
18.11.30	櫛引南小学校校舎改築完成
19.11.30	鶴岡第二中学校校舎改築完成
21.３.23	鼠ヶ関小学校校舎改築完成
21.３.31	大山幼稚園閉園
21.12.21	朝暘第一小学校校舎改築完成
22.４.29	藤沢周平記念館開館
24.２.29	羽黒中学校校舎改築完成
24.３.31	組織改変により、分室教育課が廃止となる。
	大東幼稚園閉園、広瀬幼稚園閉園、こだま幼稚園閉園
26.３.23	朝暘第四小学校校舎改築完成
26.３.31	泉幼稚園閉園
	朝暘第四小学校閉校、湯田川小学校閉校、田川小学校閉校
	朝日大泉小学校閉校、朝日小学校閉校
26.４.１	朝暘第四小学校開校（朝暘第四小学校、湯田川小学校、田川小学校の統合）
	あさひ小学校開校（朝日大泉小学校、朝日小学校の統合）
27.３.23	朝日中学校校舎改築完成
27.３.31	西郷幼稚園閉園
	三瀬小学校閉校、小堅小学校閉校、由良小学校閉校
27.４.１	豊浦小学校開校（三瀬小学校、小堅小学校、由良小学校の統合）
28.３.31	羽黒第三小学校閉校、羽黒第四小学校閉校、大網小学校閉校、温海小学校閉校、
	五十川小学校閉校、福栄小学校閉校、山戸小学校閉校
28.４.１	広瀬小学校開校（羽黒第三小学校、羽黒第四小学校の統合）
	あさひ小学校統合（あさひ小学校、大網小学校の統合）
	あつみ小学校開校（温海小学校、五十川小学校、福栄小学校、山戸小学校の統合）
29.３.31	大山小学校閉校、加茂小学校閉校
29.４.１	大山小学校開校（大山小学校、加茂小学校の統合）
30.３.18	荘銀タクト鶴岡グランドオープン
30.３.28	鶴岡第三中学校校舎改築完成
30.３.31	栄小学校閉校、長沼小学校閉校、羽黒第一小学校閉校
30.４.１	京田小学校開校（京田小学校、栄小学校の統合）
	藤島小学校開校（藤島小学校、長沼小学校の統合）
	羽黒小学校開校（羽黒第一小学校、羽黒第二小学校の統合）
令和３.12.１	ＪＡ鶴岡だだちゃアリーナ（鶴岡市屋内多目的運動場）オープン
４.４.16	シルクミライ館リニューアルオープン

鶴岡市教育委員会　関係委員

■ 歴代教育委員長（H17.10.1　市町村合併以降）

歴代	氏　　名	在　任　期　間
1	中　村　昭太郎	平成17年10月１日～平成17年11月11日
2	伴　　和香子	平成17年11月12日～平成21年11月11日
3	武　山　　育	平成21年11月12日～平成23年11月11日
4	中　目　千　之	平成23年11月12日～平成25年11月11日
5	田　中　芳　昭	平成25年11月12日～平成28年３月31日

■ 歴 代 教 育 長

歴代	氏　　名	在　任　期　間
1	本　間　重　二	平成17年10月１日～平成17年11月11日
2	齋　藤　英　雄	平成17年11月12日～平成22年３月31日
3	難　波　信　昭	平成22年４月１日～平成28年３月31日
4	加　藤　　忍	平成28年４月１日～平成31年３月31日
5	布　川　　敦	平成31年４月１日～

■ 歴代教育委員

歴代	氏　　名	在　任　期　間
1	中　村　昭太郎	平成17年10月１日～平成17年11月11日
2	清　野　　清	平成17年10月１日～平成17年11月11日
3	島　津　慈　道	平成17年10月１日～平成17年11月11日
4	菅　原　き　よ	平成17年10月１日～平成17年11月11日
5	本　間　重　二	平成17年10月１日～平成17年11月11日
6	伴　　和香子	平成17年11月12日～平成21年11月11日
7	齋　藤　英　雄	平成17年11月12日～平成22年３月31日
8	武　山　　育	平成17年11月12日～平成23年11月11日
9	尾　形　昌　彦	平成17年11月12日～平成25年８月19日
10	中　目　千　之	平成17年11月12日～平成25年11月11日
11	佐　藤　清　美	平成21年11月12日～平成29年11月11日
12	難　波　信　昭	平成22年４月１日～平成28年３月31日
13	佐　竹　美津子	平成23年11月12日～令和元年11月11日
14	毛　呂　光　一	平成25年９月19日～令和４年11月11日
15	田　中　芳　昭	平成25年11月12日～令和３年11月11日
16	齋　藤　美　緒	平成29年11月12日～
17	清　野　康　子	令和元年11月12日～
18	百　瀬　克　浩	令和３年11月12日～
19	中　村　公　俊	令和４年11月12日～

■ 鶴岡市青少年育成推進員

地域	担当地区	氏名	地域	担当地区	氏名
鶴岡	第一学区	近藤幸美	鶴岡	加茂	上林泰一
鶴岡	第一学区	西川松一	鶴岡	湯野浜	富樫伸
鶴岡	第二学区	佐藤重勝	鶴岡	大山	西脇勝
鶴岡	第二学区	太田孝二	鶴岡	大山	後藤春雄
鶴岡	第三学区	阿部等	鶴岡	西郷	佐藤聡
鶴岡	第三学区	石塚正子	藤島	藤島地区	庄司靖
鶴岡	第四学区	佐藤公昭	藤島	東栄地区	渋谷裕
鶴岡	第四学区	－	藤島	八栄島地区	成田裕
鶴岡	第五学区	伊藤秀紀	藤島	長沼地区	澁谷光志
鶴岡	第五学区	若林章	藤島	渡前地区	加藤翼
鶴岡	第六学区	五十嵐要二	羽黒	手向地区	鈴木智浩
鶴岡	第六学区	佐藤博幸	羽黒	泉地区	菊池健一
鶴岡	斎	三浦孝	羽黒	広瀬地区	菅原正幸
鶴岡	黄金	阿部晃士	羽黒	羽黒第四地区	角田純喜
鶴岡	湯田川	五十嵐茂行	櫛引	櫛引東小	清和政満
鶴岡	大泉	白幡浩一	櫛引	櫛引西小	佐藤博明
鶴岡	京田	阿部徹	櫛引	櫛引南小	小林堅一
鶴岡	栄	五十嵐悠亮	朝日	あさひ小	菅原和則
鶴岡	田川	佐藤一	温海	温海	菅原良昭
鶴岡	上郷	土岐善幸	温海	山戸	－
鶴岡	由良	梅津誠崇	温海	福栄	五十嵐明美
鶴岡	三瀬	佐藤信良	温海	鼠ヶ関	五十嵐博文
鶴岡	小堅	小林隆広			

◎任期　令和５年４月１日から令和７年３月３１日まで

■ 鶴岡市青少年育成市民会議役職員

役　職	氏　名	所　属・役　職　等
会　長	三　浦　　孝	鶴岡市青少年育成推進員連絡協議会会長
副　会　長	白　幡　和　子	鶴岡市第三学区社会福祉協議会理事
	石　川　俊　志	鶴岡市防犯協会会長
	長谷川　玲　子	鶴岡市民生児童委員協議会連合会 児童健全育成部長
常任理事	伊　藤　俊　昭	鶴岡市自治振興会連絡協議会理事
	相　馬　　功	鶴岡市青少年育成市民会議第二学区支部会長
	宮　﨑　　衛	鶴岡地区交通安全協会事務局長
	村　田　久　忠	鶴岡市民憲章推進協議会会長
	後　藤　春　雄	大山地区青少年育成連絡協議会会長
	阿　部　祝　允	鶴岡市ＰＴＡ連合会副会長

◎任期　令和６年４月１日から令和８年３月31日まで

■ 社会教育委員

No.	氏　名	所　属・役　職　等
1	難　波　剛　彦	鶴岡市小学校長会（朝暘第六小学校長）
2	土　井　浩　貴	鶴岡市中学校長会会長（鶴岡第五中学校長）
3	半　澤　久　之	鶴岡市ＰＴＡ連合会副会長（羽黒小学校ＰＴＡ会長）
4	佐々木　邦　夫	鶴岡市コミュニティ組織協議会理事（第五学区コミュニティ振興会会長）
5	石　川　孝　弘	鶴岡市自治振興会連絡協議会理事（黄金地区自治振興会会長）
6	佐　藤　豊　継	鶴岡市社会福祉協議会事務局長
7	平　田　充　廣	鶴岡市地域学校協働活動推進員（上郷小学校区）
8	蛸　井　由美子	鶴岡市地域学校協働活動推進員（あさひ小・朝日中学校区）
9	大久保　紀　子	鶴岡男女共同参画グループ「さんかく」事務局長
10	水　口　直　樹	学識経験者
11	草　島　陽　子	学識経験者
12	伊　藤　義　明	鶴岡市広瀬地区自治振興会事務局長
13	成　田　　勇	櫛引地域生涯学習振興会会長
14	難　波　金　一	鶴岡市朝日地域自治振興会連絡協議会会長
15	本　間　庸　枝	温海芸術文化協会会長

◎任期　令和５年７月１日から令和７年６月30日まで

■ 文化財保護審議会委員

No.	氏　　名	所　属　・　役　職　等
1	植　松　芳　平	自然学習交流館「ほとりあ」元館長
2	島　津　慈　道	羽黒山正善院代表役員
3	酒　井　英　一	致道博物館参与
4	本　間　　豊	致道博物館学芸部長
5	小野寺　良　寛	六十里越街道山船頭人協会会長
6	五十嵐　俊　司	小国城址保存会元会長
7	野　堀　嘉　裕	山形大学名誉教授
8	柴　田　和　彦	山形県立鶴岡工業高等学校元教諭
9	渡　部　　幸	出羽三山歴史博物館学芸員
10	上　野　由　部	黒川能保存会業務執行理事
11	佐　藤　靖　法	宝珠寺代表役員
12	佐　藤　　淳	致道博物館主任学芸員

◎任期　令和５年７月１日から令和７年６月30日まで

■ 図書館協議会委員

No.	氏　　名	所　属　・　役　職　等
1	粕　谷　温　子	鶴岡市小学校長会(朝暘第二小学校長)
2	和　田　俊　江	朗読ボランティアわらしべの会会員
3	井　上　裕　子	おはなしボランティア「おはなしポケット」会長
4	草　島　陽　子	社会教育委員
5	池　田　達　枝	中央公民館運営審議会委員
6	宮　島　昭　子	学識経験者
7	五十嵐　　武	学識経験者
8	三　浦　洋　介	学識経験者
9	本　間　　積	学識経験者
10	安　藤　幸　子	学識経験者
11	鈴　木　　邦	おはなしボランティア「アナンシ」元会長
12	小野寺　せ　つ	学識経験者
13	鈴　木　和　子	おはなしボランティア「温海絵本読み聞かせ隊ポッケ」代表

◎任期　令和５年９月１日から令和７年８月31日まで

■ 郷土資料館運営委員会委員

No.	氏　　名	所　属　・　役　職　等
1	阿　部　博　行	鶴岡市史編さん委員
2	佐々木　勝　夫	元小学校長、庄内文化センター講師
3	齋　藤　和　久	元高校長、東北公益文化大学講師
4	渡　部　　幸	出羽三山歴史博物館学芸員
5	本　間　　豊	致道博物館学芸部長
6	升　川　繁　敏	元小学校長、鶴岡市史編さん委員
7	黒羽根　洋　司	学識経験者
8	森　木　三　穂	鶴岡工業高等専門学校助教

◎任期　令和５年９月１日から令和７年８月31日まで

■ 子ども読書活動推進委員会委員

No.	氏　　名	所　属　・　役　職　等
1	井　上　裕　子	おはなしボランティア「おはなしポケット」会長
2	渡　邉　　敦	株式会社SHONAI　KIDS DOME SORAI 館長
3	三　浦　洋　介	学識経験者
4	谷　江　る　み	民田保育園主幹
5	粕　谷　温　子	鶴岡市小学校長会(朝暘第二小学校長)
6	佐　藤　大　吾	鶴岡市中学校長会(櫛引中学校長)
7	兼　子　由　香	山形県立鶴岡中央高等学校長
8	高　田　美　佳	鶴岡市ＰＴＡ連合会母親委員長
9	冨　田　喜美子	公募委員

◎任期　令和６年８月１日から令和８年７月31日まで

■ 中央公民館運営審議会委員

No.	氏　　名	所　属　・　役　職　等
1	伊　藤　健　治	鶴岡市小学校長会（藤島小学校長）
2	梅　津　芳　春	ＮＰＯ法人鶴岡市芸術文化協会副会長
3	池　田　達　枝	中央公民館サークル連絡会副会長
4	前　森　淳　子	中央公民館女性センター登録サークル連絡協議会会長
5	門　松　秀　樹	学識経験者（東北公益文科大学教授 ）
6	門　脇　里　香	学識経験者（各種講座・サークル講師）
7	土　岐　純　一	鶴岡市自治振興会連絡協議会副会長（上郷地区自治振興会会長）
8	髙　山　千代子	藤島地域婦人会会長
9	難　波　みち子	羽黒芸術文化協会副会長
10	佐　藤　信　弘	櫛引芸術文化協会会長
11	渡　部　　嚴	朝日芸術文化協会
12	阿　部　麻知子	かなり元気クラブ（温海ふれあいセンター生涯学習活動サークル）代表

◎任期　令和５年８月22日から令和７年８月21日まで

■ 学校給食センター運営委員会委員

No.	氏　　名	所　属　・　役　職　等
1	風　間　成　彦	大泉小学校長
2	伊　田　美　紀	広瀬小学校長
3	芳　賀　恵　美	櫛引東学校長
4	佐　藤　英　与	あさひ小学校長
5	齋　藤　優　子	鼠ヶ関小学校長
6	渡　邉　　智	羽黒中学校長
7	青　柳　　圭	櫛引東小学校給食主任
8	佐　藤　　純	豊浦中学校給食主任
9	福　原　晶　子	鶴岡地区医師会会長
10	金　内　一　人	黄金小学校ＰＴＡ会長
11	寒河江　結　香	羽黒中学校ＰＴＡ副会長
12	長　南　恵梨香	櫛引南小学校PTA副会長
13	生　田　真知子	あさひ小学校ＰＴＡ副会長
14	佐　藤　拓　弥	あつみ小学校ＰＴＡ会長
15	黒　田　仲　彦	庄内保健所生活衛生課長補佐

◎任期　令和６年７月１日から令和８年６月30日まで

■ 藤島ふれあい食センター運営委員会委員

No.	氏　　名	所　属　・　役　職　等
1	本　堂　尚　樹	渡前小学校長
2	川　越　ひろみ	藤島小学校給食主任
3	佐　藤　幸　栄	東栄小学校給食主任
4	相　馬　美　奈	藤島中学校給食主任
5	岩　波　香奈子	藤島小学校ＰＴＡ副会長
6	上　林　千　尋	東栄小学校ＰＴＡ副会長
7	丸　山　　碧	渡前小学校ＰＴＡ副会長
8	荘　司　智　子	藤島中学校ＰＴＡ副会長
9	齋　藤　謙　介	藤島こりす保育園保護者会長
10	百　瀬　裕　慶	学校法人いなば学園 認定こども園 いなば幼稚園園長
11	五十嵐　理恵子	藤島こりす保育園園長
12	武　田　三喜子	サンサン・畑の会会長
13	板　垣　　俊	(社)ふじの里障がい福祉サービス根っ子杉所長
14	堅　岡　真由美	藤島福祉センター主査

◎任期　令和６年７月１日から令和８年６月30日まで

■ スポーツ推進審議会委員

No.	氏　　名	所　属　・　役　職　等
1	阿　部　廣　弥	鶴岡商工会議所副会頭
2	布　施　愛　加	アスリート指導者
3	佐　藤　祐　司	鶴岡信用金庫理事長
4	里　見　　研	鶴岡市小学校体育連盟会長
5	和　田　恭　司	田川地区中学校体育連盟会長
6	兼　子　由　香	庄内地区高等学校体育連盟会長
7	丸　山　春　男	鶴岡市スポーツ推進委員会会長
8	山　本　益　生	ＮＰＯ法人鶴岡市スポーツ協会会長
9	佐　藤　利　浩	ＮＰＯ法人鶴岡市スポーツ協会専務理事
10	村　田　久　忠	鶴岡市スポーツ少年団本部顧問
11	鎌　田　博　子	鶴岡市レクリエーション協会理事
12	佐　藤　真　紀	ふじしまスポーツクラブクラブマネジャー
13	佐　藤　しおり	鶴岡フィットネス協会会長
14	佐　藤　信　良	鶴岡地区体育協会連絡協議会会長
15	佐　藤　満　子	鶴岡市身体障害者福祉協会会長

◎任期　令和６年３月１日から令和８年２月28日まで

■ スポーツ推進委員

No.	地区・地域	氏　　名	No.	地区・地域	氏　　名
1	第一学区	後　藤　直　光	19	第六学区	高　橋　正　史
2	第一学区	木　村　秀　喜	20	第六学区	加　藤　和　人
3	第一学区	菅　原　美　紀	21	斎　地　区	遠　藤　史　範
4	第二学区	川　野　二三男	22	斎　地　区	菅　原　大　輔
5	第二学区	岸　井　宏　樹	23	黄金地区	原　田　博　行
6	第二学区	小　林　　武	24	黄金地区	和　田　太美夫
7	第三学区	阿　部　洋　一	25	湯田川地区	菊　地　甚　一
8	第三学区	安　野　智　恵	26	湯田川地区	太　田　世　紀
9	第三学区	富　樫　　博	27	大泉地区	長　澤　　壮
10	第三学区	長谷川　明　子	28	大泉地区	菅　原　　淳
11	第四学区	上　野　義　弘	29	京田地区	延　味　義　勝
12	第四学区	工　藤　尚　志	30	京田地区	阿　部　正　弥
13	第四学区	劔　持　悦　子	31	栄　地　区	菅　原　信　三
14	第五学区	伊　藤　秀　紀	32	栄　地　区	上　野　　智
15	第五学区	鈴　木　　良	33	田川地区	伊　藤　勝　美
16	第五学区	佐　藤　俊　彦	34	田川地区	榎　本　大　輔
17	第六学区	信　夫　ゆみ子	35	上郷地区	小　松　　浩
18	第六学区	長　南　惠　利	36	上郷地区	佐　藤　まり子

No.	地区・地域	氏　　名	No.	地区・地域	氏　　名
37	三瀬地区	上野米夫	64	藤島地域	齋藤　慎
38	三瀬地区	鈴木　肇	65	羽黒地域	佐藤　誠
39	小堅地区	熊谷　智	66	羽黒地域	三浦智敬
40	小堅地区	佐藤潤一	67	羽黒地域	太谷英俊
41	由良地区	田村洋喜	68	羽黒地域	星野綱樹
42	由良地区	大滝拓也	69	羽黒地域	天羽香奈
43	加茂地区	齋藤　敦	70	羽黒地域	工藤実佐子
44	加茂地区	田澤輝道	71	羽黒地域	丸山真太郎
45	湯野浜地区	齋藤　晃	72	羽黒地域	小泉貴弘
46	湯野浜地区	秋葉浩和	73	櫛引地域	上林　満
47	大山地区	菅原　健	74	櫛引地域	本間一義
48	大山地区	中村慎也	75	櫛引地域	伊藤　信
49	大山地区	大瀧　文	76	櫛引地域	山口利幸
50	西郷地区	加藤良基	77	櫛引地域	小島英敏
51	西郷地区	阿部リツ	78	櫛引地域	釼持明生
52	市　推　薦	鎌田博子	79	朝日地域	難波智明
53	市　推　薦	秋野重弥	80	朝日地域	幅野友紀
54	市　推　薦	疋田美佳	81	朝日地域	鈴木　誠
55	市　推　薦	小林光雄	82	朝日地域	遠藤勇也
56	市　推　薦	佐々木俊司	83	朝日地域	難波　謙
57	藤島地域	丸山春男	84	朝日地域	佐藤貢誠
58	藤島地域	佐藤真紀	85	温海地域	土岐康弘
59	藤島地域	阿部　勝	86	温海地域	釼持　梓
60	藤島地域	小関菜月	87	温海地域	五十嵐　丈
61	藤島地域	本間　亮	88	温海地域	五十嵐　勝
62	藤島地域	叶野寿幸	89	温海地域	伊藤大悟
63	藤島地域	石川　亮	90	温海地域	佐藤　翔

◎任期　令和６年４月１日から令和８年３月31日まで

学　校　交　流

■ 学校交流一覧

交　流　名	学　校　名	交　　流　　校　　名
S39姉妹校盟約	朝暘第一小学校	木古内町立木古内小学校（北海道） （※H22まで木古内町立鶴岡小学校、交流校の統合により再盟約）
S43姉妹校盟約	朝暘第二小学校	鹿児島市立大龍小学校（鹿児島県）
S57姉妹校盟約	朝暘第三小学校	江戸川区立鹿本小学校（東京都）
H18姉妹校盟約	あつみ小学校 (H27まで福栄小学校)	曽於市立笠木小学校（鹿児島県）
H27姉妹校盟約	鶴岡第一中学校	フランス国立ラ・フォア中学校 （フランス領ニューカレドニア）
S50兄弟校盟約	鶴岡第二中学校	鹿児島市立武中学校（鹿児島県）

鶴岡市教育施設一覧

1　学校教育施設

市外局番（0235）

名　称　等	郵便番号	所　在　地	電話番号	FAX番号	備　考
市立朝暘第一小学校	997－0816	鶴岡市文園町2－1	22－0441	22－0442	
市立朝暘第二小学校	997－0801	東原町25－1	22－7755	22－7754	
市立朝暘第三小学校	997－0042	新形町17－24	22－0318	22－0319	
市立朝暘第四小学校	997－0833	柳田字田中28－1	22－8343	22－8344	
市立朝暘第五小学校	997－0022	切添町15－4	22－0514	22－0462	
市立朝暘第六小学校	997－0838	淀川町9－70	24－2290	24－2291	
市立斎小学校	997－0805	我老林字野中川原51	22－1566	22－1901	
市立黄金小学校	997－0368	青龍寺字北内48	22－5742	22－5745	
市立大泉小学校	997－0841	白山字西野148	22－0794	22－3795	
市立京田小学校	997－0054	高田字下村104	22－0763	29－9950	
市立上郷小学校	999－7548	みずほ33－3	35－2641	38－5265	
市立豊浦小学校	999－7463	三瀬字菖蒲田88－1	73－2012	38－8137	
市立湯野浜小学校	997－1201	湯野浜一丁目16－38	75－2110	68－5161	
市立大山小学校	997－1124	大山二丁目20－1	33－2570	33－2571	
市立西郷小学校	997－1117	下川字樋渡100	76－2307	76－2324	
市立藤島小学校	999－7602	藤の花二丁目1－1	64－2156	64－2157	
市立東栄小学校	999－7644	川尻字町上14	64－2159	64－3826	
市立渡前小学校	999－7683	渡前字中屋敷1	64－2160	64－2969	
市立羽黒小学校	997－0141	羽黒町荒川字花沢4	62－2148	62－2317	
市立広瀬小学校	997－0157	羽黒町後田字下田元9	62－2165	62－2618	
市立櫛引東小学校	997－0311	黒川字小在家90	57－2105	57－4406	
市立櫛引西小学校	997－0346	上山添字文栄1	57－2106	57－4407	
市立櫛引南小学校	997－0344	東荒屋字竹の内212	57－2107	57－4408	
市立あさひ小学校	997－0404	下名川字落合2	53－2028	53－2292	
市立あつみ小学校	999－7205	温海字荻田240－1	43－3101	43－3344	
市立鼠ヶ関小学校	999－7126	鼠ヶ関字横路497－2	44－2128	44－2137	
市立鶴岡第一中学校	997－0837	道田町1－82	22－0530	25－7632	
市立鶴岡第二中学校	997－0011	宝田二丁目8－34	22－8323	22－8776	
市立鶴岡第三中学校	997－0814	城南町25－1	22－2793	22－2845	
市立鶴岡第四中学校	997－0825	小真木原町3－1	24－7330	24－8447	
市立鶴岡第五中学校	997－1121	大山字若柳271	33－2222	33－2223	
市立豊浦中学校	999－7463	三瀬字横町33－2	73－2028	73－2692	
市立藤島中学校	999－7601	藤島字笹花86－1	64－2154	64－2155	
市立羽黒中学校	997－0141	羽黒町荒川字宮東28－1	62－2100	62－2101	
市立櫛引中学校	997－0346	上山添字文栄86	57－2103	57－4405	
市立朝日中学校	997－0412	本郷字笹目50	53－2092	53－2091	
市立温海中学校	999－7123	大岩川字黒岩35	43－2911	43－2914	

市外局番（0235）

名　称　等	郵便番号	所　　在　　地	電話番号	FAX番号	備　　考
県立致道館中学校	997－0037	鶴岡市若葉町16－5	23－7579	24－6160	
県立致道館高等学校	997－0037	若葉町26－31	22－0061	24－5808	
県立鶴岡工業高等学校	997－0036	家中新町8－1	22－5505	25－4209	
県立鶴岡中央高等学校	997－0017	大宝寺字日本国410	25－5723	25－5733	
県立加茂水産高等学校	997－1204	加茂字大崩595	33－3116	33－0465	
県立庄内農業高等学校	999－7601	藤島字古楯跡221	64－2151	64－2404	
県立鶴岡養護学校	997－0047	大塚町5－44	24－5959	23－1242	
県立鶴岡高等養護学校	997－0834	稲生一丁目20－33	22－0581	23－2507	
学校法人　鶴岡東高等学校	997－0022	切添町22－30	22－0223	25－6150	
学校法人　羽黒高等学校	997－0296	羽黒町手向字薬師沢198	62－2105	62－2193	
独立行政法人 鶴岡工業高等専門学校	997－8511	井岡字沢田104	25－9014	24－1840	
国立大学法人 山形大学農学部	997－8555	若葉町1－23	28－2805	28－2812	
学校法人 東北公益文科大学大学院	997－0035	馬場町14－1	29－0555	29－0556	
学校法人　城南幼保園	997－0819	のぞみ町6－20	24－7164	64－1660	認定こども園
社会福祉法人 りっしょう子ども園	997－0045	西新斎町2－31	33－8772	33－8773	認定こども園
社会福祉法人美咲こども園	997－0857	美咲町32－8	28－3331	28－3060	認定こども園
社会福祉法人ちわら菜の花こども園	997－0019	茅原字西茅原129－1	26－7311	26－7316	認定こども園
学校法人　大宝幼稚園	997－0014	大宝寺町14－10	22－1883	22－1696	認定こども園
社会福祉法人ちとせはぐくみ園	997－0834	稲生一丁目14－1	22－0742	電話と兼用	認定こども園
学校法人　若葉幼稚園	997－0037	若葉町24－35	22－2237	22－2358	認定こども園
学校法人　マリア幼稚園	997－0035	馬場町7－19	22－5831	22－5856	認定こども園
社会福祉法人新形こども園	997－0042	新形町2－35	23－2568	23－3780	認定こども園
社会福祉法人三瀬保育園	999－7463	三瀬字殿田233－1	73－3500	73－3507	認定こども園
学校法人　鶴岡幼稚園	997－0033	泉町6－13	22－0658	22－7060	認定こども園
学校法人　みどり幼稚園	997－0047	大塚町6－28	23－2350	23－2354	認定こども園
学校法人　和光幼稚園	997－0805	我老林字五里市62	22－8835	25－2230	認定こども園
学校法人 いなば幼稚園	999－7601	藤島字村東50	64－2310	64－3622	認定こども園
社会福祉法人美咲の森こども園	997－0857	美咲町28－5	24－5555	24－5300	認定こども園
社会福祉法人 にしごう保育園	997－1117	下川字樋渡100	64－0245	64－0246	認定こども園
教　育　研　修　所	997－0346	上山添字文栄100	57－4864	57－4886	教育委員会に併設
理科教育センター	997－0346	上山添字文栄100	57－4864	57－4886	教育委員会に併設
教育相談センター	997－0015	末広町3－1	23－9351	23－9395	マリカ東館２階
青少年育成センター	997－0346	上山添字文栄100	57－2108	57－2104	教育委員会に併設
鶴岡市学校給食センター	997－0841	白山字西野148－1	22－0411	22－0181	
藤島ふれあい食センター	999－7604	藤浪三丁目95－9	64－2124	64－3710	
櫛引学校給食センター	997－0346	上山添字成田21－4	57－3279	57－4310	
あさひ給食センター	997－0412	本郷字中田30－1	58－1325	58－1326	
あつみっこ給食センター	999－7123	大岩川字黒岩35	48－1432	48－1433	

2　社会教育施設

市外局番（0235）

名称等	郵便番号	所在地	電話番号	FAX番号	備考
中央公民館	997－0046	鶴岡市みどり町22－36	25－1050	25－1052	
中央公民館女性センター	997－0046	みどり町22－43	24－2340	電話と兼用	
図書館本館	997－0036	家中新町14－7	25－2525	25－2526	
郷土資料館	997－0036	家中新町14－7	25－5014	25－2526	図書館に併設
図書館　藤島分館	999－7601	藤島字山ノ前99	64－2537	64－2396	東田川文化記念館に併設
〃　羽黒分館	997－0141	羽黒町荒川字前田元89	62－2111		羽黒庁舎に併設
〃　櫛引分館	997－0346	上山添字文栄60	57－5681		櫛引情報センターに併設
〃　朝日分館	997－0404	下名川字落合220	53－2111		朝日中央ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰに併設
〃　温海分館	999－7205	温海戊577－1	43－4411	43－4427	温海ふれあいセンターに併設
荘銀タクト鶴岡（鶴岡市文化会館）	997－0035	馬場町11－61	24－5188	25－7611	
鶴岡アートフォーラム	997－0035	馬場町13－3	29－0260	22－6051	
藤沢周平記念館	997－0035	馬場町4－6	29－1880	29－2997	
東田川文化記念館	999－7601	藤島字山ノ前99	64－2537	64－2396	
藤島農村環境改善センター	999－7652	添川字新地315	64－2470	64－2470	スポーツ課
櫛引生涯学習センター	997－0346	上山添字文栄90	57－5670	57－2963	
大鳥自然の家	997－0622	大鳥字寿岡112	55－2946	電話と兼用	
温海ふれあいセンター	999－7205	温海戊577－1	43－4411	43－4427	
史跡旧致道館	997－0035	馬場町11－45	23－4672	電話と兼用	
大宝館	997－0035	馬場町4－7	24－3266	電話と兼用	
史跡松ヶ岡開墾場（松ヶ岡開墾記念館）	997－0158	羽黒町松ヶ岡字松ヶ岡29	62－3985	電話と兼用	
丸岡城跡史跡公園（日向家住宅）	997－0334	丸岡字町の内96（丸岡字町の内50）	57－5556	電話と兼用	
旧遠藤家住宅	997－0532	田麦俣字七ツ滝139	53－2113	53－2119	朝日庁舎総務企画課
金峰少年自然の家	997－0369	高坂字杉ケ沢54－1	24－2400	25－5900	
致道博物館	997－0036	家中新町10－18	22－1199	22－3531	
出羽三山歴史博物館	997－0211	羽黒町手向字羽黒山33	62－2355	62－2352	

3　スポーツ施設

市外局番（0235）

名称等	郵便番号	所在地	電話番号	FAX番号	備考
つるしんアリーナ小真木原 （小真木原総合体育館）	997－0825	鶴岡市小真木原町2－1	25－8131	25－8134	
宝田体育館	997－0011	宝田一丁目20－61	25－8131		NPO法人鶴岡市スポーツ協会
小真木原陸上競技場	997－0825	小真木原町2－1	23－4747		
小真木原東・南多目的広場	997－0825	小真木原町2－1	25－8131		NPO法人鶴岡市スポーツ協会
小真木原野球場 （鶴岡ドリームスタジアム）	997－0825	小真木原町2－1	25－8133	電話と兼用	
朝暘武道館	997－0825	小真木原町2－1	29－1346	29－1347	
小真木原テニスコート （小真木原スケート場）	997－0825	小真木原町2－1	23－5694	電話と兼用	（12月～2月の期間限定）
小真木原相撲場	997－0825	小真木原町2－1	25－8131		NPO法人鶴岡市スポーツ協会
市民プール	997－0035	馬場町13－1	22－0074	22－2017	一般財団法人 鶴岡水泳育成協会
東部運動広場	997－0802	伊勢原町12－13	25－8131		NPO法人鶴岡市スポーツ協会
大山運動広場	997－1124	大山三丁目34	25－8131		NPO法人鶴岡市スポーツ協会
ＪＡ鶴岡だだちゃアリーナ （屋内多目的運動場）	997－0856	山田字油田74－22	33－9331	33－9332	NPO法人鶴岡市スポーツ協会
八森山レクリエーション広場	999－7463	三瀬字山田1－1	73－2001		三瀬コミュニティセンター
赤川河川緑地	997－0017 997－0803	大宝寺字立野 伊勢横内字大場川原	25－2111 内線466		都市計画課 公園緑地係
鶴岡西部公園 多目的グラウンド	997－0857	美咲町29－1			
西工業団地 緑地テニスコート	997－0017	大宝寺字日本国254－11			
藤島体育館 ふれあいと躍動の広場	999－7602	藤の花1丁目1－1	64－2143	64－5239	NPO法人鶴岡市スポーツ協会 （藤島体育館）
藤島運動広場	999－7652	添川字新地307	25－8131	25－8134	スポーツ課
羽黒体育館	997－0141	羽黒町荒川字谷地堰29－1	62－4789	62－4799	NPO法人鶴岡市スポーツ協会 （羽黒体育館）
羽黒テニスコート	997－0141	羽黒町荒川字谷地堰30－1			
羽黒体育センター	997－0141	羽黒町荒川字前田元64－7			
櫛引スポーツセンター	997－0342	三千刈字清和158－1	57－4311	57－4317	NPO法人鶴岡市スポーツ協会 （櫛引スポーツセンター）
櫛引総合運動公園	997－0311 997－0351	黒川字大杉川原地内 勝福寺字福島地内			
鶴岡市グラウンド・ゴルフ場	997－0351	勝福寺字田畑地内			
朝日スポーツセンター	997－0402	東岩本字野中143	53－3302	電話と兼用	NPO法人鶴岡市スポーツ協会 （朝日スポーツセンター）
温海総合運動場	999－7204	湯温海字嶽之腰1－1	43－4411	43－4427	NPO法人鶴岡市スポーツ協会 （温海ふれあいセンター）
温海湯見ケ代運動場	999－7204	湯温海字湯見ケ代10－1			

つるおかの教育　2024

令和６年８月　　発　行

鶴 岡 市 教 育 委 員 会